

令和5年度（2023年度）

熊本私学白書

熊本県総務部総務私学局私学振興課

目 次

1	高 等 学 校	(1) 概 要	3
		(2) 学校数	4
		(3) 課程・学科	5
		(4) 生徒数	8
		(5) 入学者の状況	1 1
		(6) 卒業後の進路状況等	1 1
		(7) 教職員数	1 2
		(8) 国際交流	1 3
		(9) 併設中学校	1 5
		(10) 施設・設備	1 6
		(11) 学校納付金	1 7
2	中 学 校	(1) 概 要	2 1
		(2) 生徒数	2 2
		(3) 教職員数	2 3
		(4) 卒業後の状況	2 3
		(5) 学校納付金	2 4
3	専 修 学 校	(1) 概 要	2 7
		(2) 学校数	2 7
		(3) 課程・学科	2 9
		(4) 生徒数	3 2
		(5) 教職員数	3 4
		(6) 学校納付金	3 4
		(7) 専門士	3 5
		(8) 高度専門士	3 5
		(9) 職業実践専門課程	3 6
4	各 種 学 校	(1) 概 要	3 7
		(2) 学校数	3 7
		(3) 生徒数・教職員数等	3 8
5	私立学校審議会		4 3
6	私 学 助 成		4 4

(資料)

第1 生徒数等

1 総括	(1) 年度別私立学校数・生徒数(全日制・定時制)	5 3
	(2) 国・公・私立別学校数・学生等数(全日制・定時制)	5 4
2 私立高等学校	(1) 年度別全国比較学校数・教職員数	5 5
	(2) 年度別全国比較生徒数	5 5
	(3) 都道府県別学校数・生徒数	5 6
	(4) 生徒数推移(全日制本科及び専攻科生徒数)	5 7
	(5) 年度別本務教職員数(全日制・定時制)	5 8
	(6) 年度別開設状況	5 9
	(7) 各校の沿革	5 9
3 私立中学校	(1) 年度別全国比較学校数・学級数・生徒数・教職員数	6 3
4 私立専修学校	(1) 年度別全国比較学校数・生徒数	6 4
	(2) 県内私立専修学校生徒数の推移	6 4
	(3) 認可年別内訳	6 5
	(4) 年度別本務教職員数推移	6 5
5 私立各種学校	(1) 年度別全国比較学校数・生徒数	6 6
	(2) 認可年別内訳	6 6
	(3) 年度別本務教職員数推移	6 6

第2 納付金等

1 私立高等学校都道府県別納付金平均額	6 7
2 年度別推移高等学校納付金(全日制・本科)	6 8
3 保護者が支出した教育費全国平均額(高等学校公私比較)	6 9

(注)

1 本書で使用する学校名の略称は、次による。

学 校 名	略 称
熊本フェイス学院高等学校	フェイス
尚綱高等学校	尚 綱
熊本信愛高等学校	信 愛
熊本中央高等学校	中 央
開新高等学校	開 新
鎮西高等学校	鎮 西
真和高等学校	真 和
九州学院高等学校	九 学
慶誠高等学校	慶 誠
ルーテル学院高等学校	ルーテル
熊本国府高等学校	国 府
熊本学園大学附属高等学校	学園大付

学 校 名	略 称
熊本マリスト学園高等学校	マリスト
東海大学附属熊本星翔高等学校	東海星翔
文徳高等学校	文 徳
八代白百合学園高等学校	白 百 合
秀岳館高等学校	秀 岳 館
有明高等学校	有 明
玉名女子高等学校	玉名女子
菊池女子高等学校	菊池女子
専修大学熊本玉名高等学校	専大熊本
城北高等学校	城 北
勇志国際高等学校	勇志国際
くまもと清陵高等学校	清 陵

2 本書で使用している用語について

本科・専攻科・別科（教育の程度による区分）

… 学校教育法第58条において、高等学校には、専攻科及び別科を設置することができる」とされている。

専攻科は原則として高等学校を卒業した者が更に学習を深めるため入学する課程である。通常の課程（全日制課程であれば、一般的に中学校卒業後の3年間）と専攻科とを区別する必要がある場合、本書では前者を本科と記載している。

全日制・定時制・通信制（授業を行う時間による区分）

… 学校教育法第54条において、高等学校には全日制の課程（通常の課程）又は定時制の課程のほか通信制の課程を置くことができるとされている。

1 高等学校

1 高等学校

(1) 概要

県内の私立高校は25校であるが、うち23校が県が所管する学校法人立高等学校であり、他2校が教育特区の指定を受けている山都町の通信制株式会社立高等学校である。学校法人立の私立高等学校のうち21校は、全日制・学年制を採用しており、うち4校は専攻科を併設している。また、残りの2校は通信制・単位制である。

23校中、鎮西と真和は同一学校法人が経営しているため、県内に高校を設置する学校法人数は22である。県内には創立100年を超える学校が9校あり、長い歴史と伝統を有している学校が多いが、少子化による生徒数の減少の影響等を受けている。なお、フェイスは平成23年(2011年)3月末をもって閉校となった。

各校とも独自の建学の精神をもって特色ある教育を実践し、本県高等学校教育の普及発展に大きな役割を果たしている。

全日制21校に在籍している生徒数は16,355人(本科15,909人、専攻科446人…令和5年(2023年)5月1日現在)で、県内高校本科生徒数に占める私立高校生の割合は、37.5%である。

表-1 全日制(本科・専攻科)生徒数

(単位:校、人、%)

区分	学校数(校)			生徒数(人) 上段:本科 下段:専攻科等			本科生徒数中の私学割合(%)		
	令和3	4	5	令和3	4	5	令和3	4	5
熊本県	21(16)	21(16)	21(16)	16,098(14)	16,166(15)	15,909(15)	37.1(5)	37.8(5)	37.5(6)
				499(3)	467(3)	446(3)			
福岡県	59(4)	59(4)	59(4)	51,590(6)	51,901(6)	52,172(6)	43.1(4)	43.6(4)	43.7(4)
				863(2)	889(2)	878(2)			
佐賀県	9(40)	9(40)	9(40)	5,682(39)	5,705(39)	5,716(39)	25.8(31)	26.3(32)	26.3(33)
				153(13)	147(13)	149(10)			
長崎県	22(15)	22(15)	22(15)	11,102(21)	11,053(21)	11,122(21)	33.1(13)	33.6(13)	34.2(14)
				256(6)	259(6)	280(6)			
大分県	14(27)	14(27)	14(28)	8,590(30)	8,717(30)	8,477(31)	30.5(19)	31.3(19)	30.7(21)
				491(4)	432(4)	406(4)			
宮崎県	15(25)	15(25)	15(25)	8,564(31)	8,962(29)	9,206(27)	30.7(18)	32.3(16)	33.0(16)
				415(5)	384(5)	398(5)			
鹿児島県	21(16)	21(16)	21(16)	14,158(18)	14,415(18)	14,456(17)	33.9(9)	35.0(9)	35.5(11)
				1,040(1)	1,010(1)	1,021(1)			
沖縄県	4(46)	4(46)	5(45)	2,926(45)	2,929(45)	2,897(45)	6.9(46)	7.0(46)	7.0(46)
				-(-)	-(-)	-(-)			
全国平均	28.1	28.1	28.1	21,323	21,428	21,389	33.5	35.0	35.4
				221※	212※	210※			

(各年度5月1日現在)

注:()内は全国順位

※全国平均生徒数(専攻科等)は、専攻科等(専攻科+別科)がある都道府県数で除したもの。

出典:「学校基本調査」(文部科学省)

(2) 学校数

県内の全日制私立高校は21校であり、私立高校の全日制高校に占める割合は28.8%である。昭和43年度(1968年度)以来新設校はない。

地域別の私立高校数は、表-2のとおりであり、熊本市に14校、約7割が設置されている(熊本市内公立高校の51.9%)。

表-2 地域別、課程別学校数 (単位:校)

区分	全日制				定時制(再掲)		
	私立	県立	市立	計	私立	県立	計
熊本	14	11	2	27	0	2	2
玉名	3	4	0	7	0	2	2
鹿本	1	3	0	4	0	0	0
菊池	1	4	0	5	0	0	0
八代	2	6	0	8	0	1	1
その他	0	22	0	22	0	3	3
計	21	50	2	73	0	8	8

熊本=熊本市
 玉名=玉名市、荒尾市、玉名郡
 鹿本=山鹿市
 菊池=菊池市、菊池郡
 八代=八代市

注1: 全日制には、県立分校3校を含む。

注2: 定時制は全て併置校であり、全日制も設置している。

出典: 「令和5年度(2023年度) 熊本県私立学校名簿」(私学振興課)、「令和5年度(2023年度) 学校一覧」(県教育委員会)

私立高校(全日制)を男子校、女子校、共学校の別に区分すると表-3のとおりである。共学校の割合が高くなっている。平成3年度(1991年度)から九学、平成7年度(1995年度)から国府、平成12年度(2000年度)からマリスタ、平成13年度(2001年度)からルーテル、平成14年度(2002年度)から中央、平成16年度(2004年度)から開新、平成21年度(2009年度)から慶誠が男女共学となった。

表-3 男子校、女子校、共学校 (単位:校)

区分	男子校	女子校	共学校	計
熊本	0	2	12	14
玉名	0	1	2	3
鹿本	0	0	1	1
菊池	0	1	0	1
八代	0	1	1	2
計	0	5	16	21

(令和5年(2023年)5月1日現在)

出典: 「学校基本調査」(文部科学省)

また、宗教系の私立高校は、仏教系が鎮西・真和、キリスト教カトリック系が信愛・マリスタ・白百合、キリスト教プロテスタント系が九学・ルーテルである。

(3) 課程・学科

私立高校の全日制課程21校のすべてが普通科を設置している。

普通科のみを設置しているのは、尚綱・鎮西・真和・九学・ルーテル・学園大付・マリスト・東海星翔・白百合の9校だけで、他の12校は職業学科等との複合学科編成となっている。

表-4 地域別・設置分野別学校数の状況

(単位：校)

地区	学校数	分野	設置分野別学科数									
			普通科	工業系	商業系	家庭系	看護系	農業系	水産系	福祉系	その他	総合学科
私立	熊本	14 ①	14	2	4	1	1 ①					1
	玉名	3 ②	3	1	2	1	2 ②			1		
	鹿本	1 ①	1			1	1 ①			1		
	菊池	1	1			1				1		
	八代	2	2	1	1							
	計	21 ④	21	4	7	4	4 ④			3		1
公立		52 <8>	31 <5> (1)	8 <1>	12 <2>	3		11	1	3	7	2 <1>

注：〈 〉は定時制、()は通信制、○は専攻科で外書。(令和5年(2023年)5月1日現在)

出典：「令和5年度(2023年度) 学校基本調査」(文部科学省)

「令和5年度(2023年度) 生徒数調査」(私学振興課)

このように、本県の私立高校は、普通科志向に対応しつつ、その他の教育ニーズにも応えられるよう、いくつかの系統を組み合わせた学科編成を行っているものが多い。

特に、全日制の看護科及び看護専攻科は、県内では私立のみに設置されている学科である。

表一5 学科新設等再編状況（学科の定員増減は除く）

開設年度	高校名	学科新設・名称変更	学級増	学科廃止等 (募集停止)	学級減
平成元年度	中央		普通科(1) ←	保育科(1)	
	熊本女子		普通科(2) ←		家政科(1)
	菊池女子	社会福祉科(1) ←			家政科(1)
2	フェイス		普通科(3) ←	商業科(3)	
	東海大二		電子情報科(2) ← 普通科(1) ←	機械科(2) 電気科(1)	
3	工大高	制御機械科	機械科から名称変更		
4	信愛			衛生看護科(1)	
	熊本女子	生活デザイン科(1) ←		家政科(2)	
	八代第一		普通科(1) ← 商業科(1) ←	女子経済科(2)	
5	玉名女子	情報ビジネス科 ←	普通科(2) ←	服飾デザイン科(1)	
				商業科(2)	
6	国府	普通科(2) ←	情報処理科(1) ←		商業科(3)
7	東海大二		普通科(1) ←		電子情報科(1)
	真和		普通科(1) ←	理数科(1)	
	八代第一			工業科学科(1)	
8	文徳	総合科学科(5)		電子工業科(1)	
				電気科(1)	
				制御機械科(1)	
				建設科(1)	
	城北	生活総合学科(1)	家政科から名称変更		
9	中央	衛生看護専攻科(1)			
	開新		普通科(1) ←		電子機械科(1)
	慶誠		普通科(1) ←	生活デザイン科(1)	
	国府		普通科(1) ←		商業科(1)
	八代第一		普通科(1) ← 建設工業科(1) ←		商業科(2)
10	玉名女子	衛生看護専攻科(1)			
	フェイス	医療福祉科(1) ←			普通科(1)
	国府		普通科(1) ←	商業科(1)	
11	フェイス			定時制家政科(1)	
	東海大二		普通科(2)	電子情報科(2)	
13	鎮西		普通科(1) ←	体育科(1)	
	有明	福祉科(1) ←		商業科(1)	
14	中央・有明・玉名女子	看護科(各2)	衛生看護科から名称変更		
17	フェイス	通信制課程		定時制家政科	
19	慶誠	ふくし科(1) ←			普通科(1)
20	中央	総合ビジネス科(2)	商業科から名称変更		
21	フェイス			普通科(3) コンピュータ事務(1) 医療福祉(1)	
	開新	土木建築科(1) ←		土木科(1) 建築科(1)	
		電気情報科(2) ←		電気科(1) 情報処理科(1)	
国府	ビジネス科(7) ←		商業科(6) 情報処理科(2)		

開設年度	高校名	学科新設・名称変更	学級増	学科廃止等 (募集停止)	学級減
23	文徳	理工科(1)	総合科学科からの名称変更		
	城北	調理科(1) ← 看護科(2)		商業科(1) 生活総合学科(1)	
26	慶誠		普通科(1) ←	ふくし科(1)	
27	国府		普通科(1) ←		ビジネス科(1)
28	鎮西			商業科(2)	
	国府		普通科(1) ←		ビジネス科(1)
29	玉名女子		普通科(1) ←		食物科(1)
30	国府		ビジネス科(1) ←		普通科(1)
令和元年度	有明	機械科	生産工業科からの名称変更		
4	菊池女子			社会福祉科(1)	
5	専大熊本	国際ビジネス科	総合ビジネス科からの名称変更		

※ () 内は、学級数

(4) 生徒数

令和5年度(2023年度)における私立高校に在籍する生徒数は18,326人(全日制本科15,909人、全日制専攻科446人、通信制(広域通信制)1,971人)で、全日制生徒数16,355人は、前年度に比べ278人減少した。

なお、本県の公私立あわせた全生徒数(通信制高校を除く)は43,286人(全日制本科42,457人、全日制専攻科459人、定時制本科370人)であり、全日制本科生徒中、私立高校の生徒は37.5%を占めている。

各私立高等学校(全日制)の生徒数は表-6のとおりである。

令和5年度(2023年度)私立高校全日制本科の実員は15,909人(前年度16,166人)で、実員を定員で除した定員充足率は、前年度の86.2%を1.5ポイント下回り84.7%となった。

表-6 学校別生徒数

学校名	定員	実員			学級数	
		生徒数(人)				
		男子	女子	計		
本科	尚綱	960	0	502	502	20
	信愛	840	0	365	365	17
	中央	960	129	654	783	32
	開新	1,500	999	255	1,254	41
	鎮西	930	318	294	612	17
	真和	600	279	241	520	18
	九学	960	559	482	1,041	27
	慶誠	840	377	516	893	27
	ルーテル	960	340	645	985	26
	国府	1,440	714	605	1,319	39
	学園大付	1,080	605	608	1,213	32
	マリスト	675	365	339	704	19
	東海星翔	1,200	785	493	1,278	34
	文徳	1,080	670	419	1,089	35
	白百合	480	0	365	365	12
	秀岳館	1,200	478	341	819	31
	有明	810	225	234	459	26
	玉名女子	630	0	451	451	18
	菊池女子	285	0	157	157	9
	専大熊本	630	269	135	404	20
城北	720	334	362	696	26	
本科計	18,780	7,446	8,463	15,909	526	
専攻科	中央	160	9	139	148	4
	有明	160	13	129	142	4
	玉名女子	120	0	93	93	4
	城北	140	5	58	63	2
専攻科計	580	27	419	446	14	
本科+専攻科	19,360	7,473	8,882	16,355	540	

(令和5年(2023年)5月1日現在)

出典:「令和5年度(2023年度) 生徒数調査」(私学振興課)

次に、全日制本科の最近5カ年の生徒数の推移は、表-7のとおりである。令和5年度(2023年度)は、公立、私立ともに減少している。

私立学校では、生徒減少が学校経営に直接影響するため、今後とも魅力ある私学づくりをさらに進めていくことが求められている。

表-7 全日制本科生徒数の推移

年度	私立(人)	公立(人)	計(人)	私学の占める割合(%)	※中学卒業者の進学率(%)
令和元年	16,278	29,227	45,505	35.8	99.2
2	16,225	28,309	44,534	36.4	99.2
3	16,098	27,308	43,406	37.1	99.2
4	16,166	26,612	42,778	37.8	99.1
5	15,909	26,548	42,457	37.5	98.7

(各年度5月1日現在)

注：中学校卒業者の進学率とは、高等学校進学者数、高等専門学校進学者数及び特別支援学校高等部進学者数の合計を中学校卒業者数で除したもの

出典：「学校基本調査」(文部科学省)

全日制本科の学科別生徒数は表-8のとおりである。

普通科の生徒数は前年度より27人減少し、全体に占める割合は1.1ポイント増加した。

表-8 学科別生徒数(全日制本科のみ)

(単位：人、()内は構成比)

	普通科・職業科の別	分野名	学科名	学科別人数	分野別人数(構成比)	普通科・職業科人数(構成比)	全日制総数
		普通科	普通科		12,264	12,264(77.1)	
全日制	職業学科	商業	商業関係	820	993(6.3)	3,645(22.9)	15,909(100)
			情報処理関係	173			
		工業関係	機械関係	212	1,191(7.5)		
			自動車関係	210			
			情報処理関係	248			
			土木関係	301			
		その他	220				
		看護	看護科	659	659(4.1)		
		家庭	食物関係	370	464(2.9)		
			家政関係	94			
		その他	福祉関係	97	338(2.1)		
総合学科	241						

(令和5年(2023年)5月1日現在)

出典：「令和5年度(2023年度)生徒数調査」(私学振興課)

最近5カ年の分野ごとの生徒数の動向は表－9のようになっている。

令和5年(2023年)の全日制本科における生徒数は、前年度より257人減少している。

表－9 全日制生徒数の推移

本科学科群 \ 年度	令和元	2	3	4	5
普通科	12,425 (76.3)	12,254 (75.5)	12,204 (75.8)	12,291 (76.0)	12,264 (77.1)
商業関係	923 (5.7)	988 (6.1)	1,022 (6.3)	1,013 (6.3)	993 (6.3)
工業関係	1,339 (8.2)	1,400 (8.6)	1,332 (8.3)	1,320 (8.2)	1,191 (7.5)
看護関係	766 (4.7)	763 (4.7)	738 (4.6)	727 (4.5)	659 (4.1)
家庭関係	431 (2.6)	438 (2.7)	418 (2.6)	462 (2.9)	464 (2.9)
その他	394 (2.4)	382 (2.4)	384 (2.4)	353 (2.1)	338 (2.1)
計	16,278 (100)	16,225 (100)	16,098 (100)	16,166 (100)	15,909 (100)
専攻科	492	480	499	467	446

(各年度5月1日現在)

注1：()内は構成比

注2：県内の私立高等学校専攻科は看護専攻科のみ

出典：「生徒数調査」(私学振興課)

令和5年度(2023年度)の私立における全日制本科生徒数を男女別にみると、女子は前年度より96人減で全体の53.2%を占め、男子は前年度より161人減で全体の46.8%となっている。

表－10 男女別生徒数(全日制本科)

私立	100% (15,909人)		
	男子 46.8% (7,446人)	女子 53.2% (8,463人)	
	共学校 46.8% (7,446人)	女子校 11.6% (1,840人)	共学校 41.6% (6,623人)
公立	100% (26,548人)		
	男子 53.7% (14,262人)	女子 46.3% (12,286人)	

(令和5年(2023年)5月1日現在)

出典：「令和5年度(2023年度) 学校基本調査」(文部科学省)

「令和5年度(2023年度) 生徒数調査」(私学振興課)

(5) 入学者の状況

令和5年度(2023年度)における私立高校への入学者は、全日制本科5,412人となっており、前年度に比べて323人減少している。なお、全日制本科の最近5年間の入学者の状況は表-11のとおりである。令和5年度(2023年度)については、入学定員6,260人に対し、受験者数は13,924人となっており、昨年度より181人増加している。

表-11 入学者状況(全日制本科のみ)

(単位:人、%)

年度	入学定員	受験者数	入学者数			
			一般入学	併設中学校からの入学	推薦等入学	計
令和元年度	6,260	13,870	716 (12.9)	291 (5.2)	4,561 (81.9)	5,568
2	6,260	13,665	554 (10.0)	360 (6.5)	4,649 (83.6)	5,563
3	6,260	13,276	493 (9.0)	358 (6.5)	4,633 (84.5)	5,484
4	6,260	13,743	518 (9.0)	353 (6.2)	4,864 (84.8)	5,735
5	6,260	13,924	630 (11.6)	366 (6.8)	4,416 (81.6)	5,412
平均	6,260	13,696	582 (10.5)	346 (6.2)	4,625 (83.3)	5,552

注: ()内は構成比

出典:「生徒数調査」(私学振興課)、「熊本私学白書作成等に係る実態調査」(私学振興課)

(6) 卒業後の進路状況等

県内高校生の卒業後の進路状況は、表-12のようになっている。令和5年(2023年)3月に私立高校を卒業した者は、5,071人で、県内高校生全体の36.2%を占めている。私立高校卒業生の進路状況の構成比を公立と比較してみると、大学等進学者については公立より6.9ポイント高く、就職者については公立より13.0ポイント低くなっている。

表-12 卒業後の進路状況(各年3月卒業生)

(単位:人、%)

卒業生 (暦年)	私 立					公 立				
	卒業生	大学等 進学者	専修学校 等入学者	就職者	その他	卒業生	大学等 進学者	専修学校 等入学者	就職者	その他
平成31	5,533 (100.0)	2,916 (52.7)	1,413 (25.5)	979 (17.7)	225 (4.1)	9,999 (100.0)	4,312 (43.1)	2,436 (24.4)	3,032 (30.3)	219 (2.2)
令和2	5,215 (100.0)	2,725 (52.3)	1,342 (25.7)	967 (18.5)	181 (3.5)	9,716 (100.0)	4,198 (43.2)	2,327 (24.0)	3,016 (31.0)	175 (1.8)
3	5,238 (100.0)	2,722 (52.0)	1,460 (27.9)	840 (16.0)	216 (4.1)	9,512 (100.0)	4,242 (44.6)	2,287 (24.0)	2,757 (29.0)	226 (2.4)
4	5,191 (100.0)	2,763 (53.2)	1,398 (26.9)	824 (15.9)	206 (4.0)	9,197 (100.0)	4,136 (45.0)	2,209 (24.0)	2,628 (28.6)	224 (2.4)
5	5,071 (100.0)	2,710 (53.4)	1,387 (27.4)	752 (14.8)	222 (4.4)	8,936 (100.0)	4,155 (46.5)	2,116 (23.7)	2,486 (27.8)	179 (2.0)

出典:「学校基本調査」(県統計調査課)
「生徒数調査関係資料」(私学振興課)

表-13 全日制21校県外入学者数（令和5年度（2023年度））

（単位：人、％）

地域	県外者数	構成比	内 訳
九州	273	75.6	福岡(163)、佐賀(11)、長崎(17)、大分(16)、宮崎(12)、鹿児島(35)、沖縄(19)
北海道	0	0.0	
東北	1	0.3	宮城(1)
関東	26	7.2	茨城(1)、埼玉(3)、千葉(1)、東京(13)、神奈川(8)
中部	4	1.1	静岡(1)、愛知(3)
近畿	32	8.9	大阪(19)、兵庫(4)、京都(2)、奈良(4)、和歌山(3)
中国	18	5.0	島根(1)、岡山(2)、広島(8)、山口(7)
四国	3	0.8	愛媛(2)、高知(1)
その他	4	1.1	タイ(1)、ネパール(2)、フィリピン(1)
計	361	100.0	

出典：「令和5年度（2023年度）出身中学校等調査」（私学振興課）

(7) 教職員数

全日制私立高校の本務教職員の状況は表-14のようになっている。令和5年度（2023年度）の本務教員は、前年度に比べ、4人増加し1,077人である。1校当たりの平均本務教員数は51.3人である。

また、本務職員は前年度に比べ、22人減少し253人であり、1校当たりの平均本務職員数は12.0人である。

表-14 本務教職員数

（単位：人）

区分	本教務員							本務職員
	校長	副校長・教頭	教諭	助教諭	養護教諭等	講師	計	
令和元年度	19	32	718	13	22	272	1,076	255
2	19	36	712	14	22	266	1,069	263
3	19	38	717	9	26	257	1,066	278
4	19	37	731	7	24	255	1,073	275
5	20	39	735	6	23	254	1,077	253

（各年度5月1日現在）

出典：「生徒数調査関係資料」（私学振興課）

各私立高校においては、国際化に対応し、英語教育等の充実・強化を図っている。

外国人の教師（ALT含む）の採用状況については、尚綱4人、信愛1人、中央1人、開新2人、真和2人、九学4人、慶誠2人、ルーテル3人、学園大付2人、マリスト2人、東海星翔2人、文徳1人、白百合1人、玉名女子1人、専大熊本1人の15校29人となっている。（表－15）

表－15 私立高校における外国人教師の採用状況（本務以外含む）

年 度	採用学校数（校）	採用人員（人）
令和元	12	23
2	13	26
3	13	26
4	14	28
5	15	29

出典：「令和5年度(2023年度) 国際交流の実態調査」(私学振興課)

(8) 国際交流

外国の学校と姉妹関係を締結し、姉妹校訪問や定期的な交換留学等の国際交流を行っている私立高校は10校（信愛・中央・開新・九学・ルーテル・マリスト・白百合・秀岳館・玉名女子・専大熊本）である。（表－16）

この姉妹校への留学を含めて、高校在学中に外国に留学した者の状況は表－17のとおりである。

表－16 外国の高校との姉妹校締結の状況

学校名	相手校の学校名	国 名	姉妹校締結年月日
信愛	セントコロンバスカレッジ	オーストラリア	平成14年8月12日
	衛理女子高級中学校	台湾	平成18年10月21日
中央	論山女子商業高等学校	韓国	昭和59年10月20日
開新	桂林市旅游専科学校	中国	平成2年8月19日
	北京市大興区第一職業高等学校		平成2年1月22日
	西安国際文化培訓学院		平成2年12月12日
	南寧第一職業高等学校		平成12年1月19日
	大連教育学院		平成14年12月18日
	桂林市職業中心学校		平成19年4月27日
	蔚山エネルギー高等学校	韓国	平成24年9月20日
	朝日高等学校		平成29年6月16日
	高雄市立高級工業職業学校	台湾	平成28年10月3日
九学	インマヌエル・カレッジ	オーストラリア	平成2年6月13日
ルーテル	インマヌエル・カレッジ	オーストラリア	昭和56年4月1日
マリスト	ペンリス・アングリカンカレッジ	オーストラリア	平成14年8月1日
白百合	セントポール女子高等学校	韓国	平成18年2月14日
秀岳館	現一高等学校	韓国	平成24年6月6日
玉名女子	馬山舞鶴女子高等学校	韓国	平成8年11月15日
	クラリダ高等学校	アメリカ	平成10年6月14日
専大熊本	ヘレナ高等学校	アメリカ	令和2年12月10日
	左營高等学校	台湾	令和4年12月19日

(令和5年(2023年)5月1日現在)

出典：「令和5年度(2023年度) 国際交流の実態調査」(私学振興課)

表-17 海外への留学生の状況

(単位：人)

年度	令和元年	2	3	4	5
学校数	5	2	0	2	6
計	7	2	0	3	13
留学先 国名	アメリカ	3		1	4
	オーストラリア	2			4
	カナダ		1	1	1
	アイスランド			1	
	ニュージーランド	1	1		
	スイス	1			
	アイルランド				1
	フランス				1
	デンマーク				1
	スペイン				1

(各年度5月1日現在)

出典：「国際交流の実態調査」(私学振興課)

外国からの留学生受入れ状況は表-18のとおりである。姉妹校からの留学は2校3人、姉妹校への留学は2校3人である。

表-18 海外からの留学生受入れ状況

(単位：人)

年度	令和元年	2	3	4	5
学校数	5	5	4	3	6
計	18	15	11	4	12
留学受 入国名	オーストラリア	1	1		3
	中国	1	2	2	1
	タイ	1		3	2
	韓国	8	5	1	
	ブラジル	3	4	2	
	フランス		1		
	マリ共和国	1			
	デンマーク	1			
	コスタリカ	1			
	オランダ		1		
	香港		1		
	ドイツ			1	
	ベルギー			1	
	ケニア			1	1
	セネガル				1
	フィンランド				1
	スウェーデン				1

(各年度5月1日現在)

出典：「国際交流の実態調査」(私学振興課)

なお、海外への修学旅行等の実施状況は、表-19のとおりである。

主な行き先は、アメリカ合衆国、オーストラリア、シンガポール、マレーシア、ニュージーランド、台湾、韓国等となっている。

令和2年度(2020年度)、令和3年度(2021年度)については、新型コロナウイルス感染症の影響により、海外への修学旅行等の実施した学校はなかった。

表-19 海外への修学旅行等の実施状況 (単位：人)

年度	平成30														令和元						2	3	4						
	尚綱	信愛	中央	開新	九学	慶誠	マリスト	ルーテル	学園大付	東海星翔	文徳	白百合	秀岳館	玉名女子	専大熊本	城北	尚綱	信愛	中央	開新				慶誠	学園大付	文徳	秀岳館	城北	
参加学年	2	1 5 3	1 5 2	1 5 3	1 5 3	2	1 5 3	1 5 2	1 5 3	2	1 5 2	1 5 3	2	1 5 4	3	2	1 5 2	1 5 2	1 5 2	1 5 3	2	1 5 2	2	2	2	2	実施なし	実施なし	中3 高2
参加生徒数	107	14	6	35	24	25	17	11	153	20	17	16	19	10	2	38	59	7	6	10	19	155	13	16	34				50
	16校 514人														9校 319人									1校 50人					

出典：「海外修学（研修）旅行」（私学振興課）

(9) 併設中学校

私立高校（全日制）21校中、8校（尚綱・信愛・真和・九学・ルーテル・マリスト・文徳・学園大付）には中学校が併設されている。これらの中学校から進学した者のうち、同一学校法人が設置する高校へ進学した者の状況は、表-20のとおりであり、私立中学校に入学した生徒は、概ね併設高校へ進学している。

表-20 私立中学校卒業者の進学状況の推移 (単位：人、%)

区分	平成31年3月卒	令和2	3	4	5
私立中学校卒業者	395	460	447	473	475
上記のうち、 同一学校法人の高校への 進学者数	319 (80.8)	369 (80.2)	364 (81.4)	380 (80.3)	387 (81.5)

※ () 内は、進学者のうち同一学校法人の高校に進学した者の占める割合 (%)

出典：「令和5年(2023年)3月中学卒業生進路状況調査」(県教育委員会)

また、中学校を併設する高校からみた、併設中学校からの入学者状況の推移は表-21のとおりであり、令和5年度(2023年度)では入学者総数の17.3%となっている。学校別にみると、多い高校で36.1%、少ない高校で3.5%となっている。

表-21 中学校を併設する高校の入学者状況の推移 (単位：人、%)

入学年度	令和元年度	2	3	4	5
中学校併設高校入学者総数	2,510	2,345	2,247	2,274	2,110
併設中学校からの入学者数	291 (11.6)	360 (15.4)	358 (15.9)	353 (15.5)	366 (17.3)

※ () 内は、入学者に占める併設中学校からの入学者の割合 (%)。

出典：「生徒数調査」(私学振興課)
「熊本私学白書作成等に係る実態調査」(私学振興課)

(10) 施設・設備

県内私立高校(全日制21校)が有する施設のうち校地の総面積は、表-22のとおりである。

表-22 校地状況 (単位：㎡)

〔土地〕	屋外運動場	実験実習地	建物敷地・その他	合計
総面積	621,444 (0)	13,877 (0)	438,673 (8,348)	1,073,994 (8,348)

注：() 内は借用分内数。 (令和5年(2023年)5月1日現在)

出典：「熊本私学白書作成等に係る実態調査」(私学振興課)

また、建物の面積は表-23のとおりである。

表-23 建物面積状況 (単位：㎡)

〔建物〕	校舎	屋内運動場 (講堂を含む)	寄宿舍	合計
総面積	189,224 (0)	79,476 (0)	48,462 (0)	317,162 (0)

注：() 内は借用分内数。 (令和5年(2023年)5月1日現在)

出典：「熊本私学白書作成等に係る実態調査」(私学振興課)

私立高校では、全ての学校が寄宿舎を設置している。寄宿舎に入舎している生徒数は表-24のとおりである。令和5年度(2023年度)の状況を学校別にみると、多いところでは在籍生徒50.4%が入舎している高校もあるが、全体としては、全在籍者の10.4%が入舎している状況である。

表-24 寄宿舎入舎状況

年度	寄宿舎設置校数 (校)	寄宿舎入舎生徒数 (人)	在籍者に占める割合 (%)
令和元	21	2,026	12.1%
2	21	1,918	11.5%
3	21	1,848	11.1%
4	21	1,808	10.9%
5	21	1,694	10.4%

(各年度5月1日現在)

出典：「生徒数調査」(私学振興課)

「熊本私学白書作成等に係る実態調査」(私学振興課)

また、プールについては5校が設置しており、16校は未設置である(近隣に他校のプール、あるいは公共のプールがある等の理由により設置不要等)。

出典：「補助金等実態調査自己点検調書」(私学振興課)

(11) 学校納付金

令和5年度(2023年度)における県内私立高校(全日制)の授業料の平均月額33,224円で、前年度より762円増となった。平成22年度(2010年度)から高校無償化に伴い、公立高校の授業料は不徴収、私立高校についても就学支援金が支給されており、公立高校との差額は、33,224円から、就学支援金9,900円を差し引いた月額23,324円となる。(ただし、平成26年度(2014年度)から公立高校に係る授業料不徴収制度と私立高校に係る就学支援金制度が一本化され、年収910万円以上の所得世帯の生徒については、就学支援金は支給しないこととされた。)

また、授業料の他に月々納める納付金の平均月額は7,699円で、令和4年度(2022年度)と比較すると0.5%減となっている。なお、私立高校授業料等納付金の推移は表-25のとおりである。

表-25 授業料等納付金及び公立高校授業料等の推移(月額) (単位：円)

区 分		令和元年度	2	3	4	5
私立	授業料平均(A)	24,219	30,707	31,993	32,462	33,224
	その他の納付金	13,443	7,697	7,288	7,738	7,699
公立	授業料(B)	9,900	9,900	9,900	9,900	9,900
A-B		14,319	21,942	22,093	22,562	23,324

出典：「授業料等調査」(私学振興課)

また、私立高校の入学時納付金（入学に際して納める入学金等を含めたもの。）の平均額は、令和5年度（2023年度）では前年度と同じ103,334円であり、最近5年間の推移は表－26のとおりである。

表－26 入学時納付金の推移

（単位：円）

区 分	令和元年度	2	3	4	5	
私立	入学金	68,095	68,810	68,810	68,810	68,810
	その他	34,524	34,524	34,524	34,524	34,524
	計	102,619 (▲ 1.1)	103,334 (0.7)	103,334 (0.0)	103,334 (0.0)	103,334 (0.0)
公立	入学金	5,650	5,650	5,650	5,650	5,650

注：（ ）内は対前年度伸び率（％）。

出典：「授業料等調査」（私学振興課）

また、私立高校の受験料は表－27のとおりであり、平成9年度（1997年度）以降、全校同額の10,000円となっている。

表－27 受験料の平均額

（単位：円）

区 分	令和元年度	2	3	4	5
受験料	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
伸び率（％）	0	0	0	0	0

出典：「授業料等調査」（私学振興課）

2 中 学 校

2 中 学 校

(1) 概 要

県内の私立中学校は、8校（尚綱中学校、熊本信愛女学院中学校、九州学院中学校、ルーテル学院中学校、真和中学校、熊本マリスト学園中学校、文徳中学校、熊本学園大学附属中学校）であり、令和5年(2023年)5月1日現在で、1,339人の生徒が在籍している。

これらの中学校は、すべて熊本市にあり、同一学校法人が設置する高校に併設されている。

私立中学校の生徒数は、県内の中学生の2.74%を占めている。この割合は、全国平均の7.79%に比べてかなり低く、九州8県の中でも第7位である。

また、私立中学生の占める割合は、本県では前年度に比べ0.1ポイント減少している（全国平均は0.1ポイントの増加）。

表 - 28 生徒数

（単位：人、％）

区分	全中学生数			私立中学生数			私学割合		
	令和3年度	4	5	令和3年度	4	5	令和3年度	4	5
熊本県	48,862	49,051	48,877	1,454	1,412	1,339	2.98	2.88	2.74
福岡県	139,657	140,593	140,707	7,353	7,302	7,238	5.27	5.19	5.14
佐賀県	23,530	23,334	23,136	1,324	1,282	1,238	5.63	5.49	5.35
長崎県	35,782	35,388	35,119	1,909	1,826	1,808	5.34	5.16	5.15
大分県	29,624	29,340	29,304	680	654	625	2.30	2.23	2.13
宮崎県	30,562	30,709	30,341	2,101	2,137	2,096	6.87	6.96	6.91
鹿児島県	45,294	45,407	45,323	1,888	1,872	1,898	4.17	4.12	4.19
沖縄県	49,716	50,024	50,484	2,286	2,307	2,311	4.60	4.61	4.58
全国	3,229,698	3,205,220	3,177,508	245,245	246,342	247,622	7.59	7.69	7.79

（各年度5月1日現在）

出典：「学校基本調査」（文部科学省）

本県私立中学校の入学者等の状況は表 - 29のとおりである。このうち、令和5年度(2023年度)の受験者は1,433人で前年度に比べて91人（6.0％）の減、定員635人に対して倍率2.26倍となっている。入学者については、前年度に比べ44人（9.2％）の減となっている。

表 - 29 受験・入学者状況

（単位：人）

年度	定員	受験者	入学者
令和元年度	635	1,400	507
2	635	1,504	515
3	635	1,453	470
4	635	1,524	479
5	635	1,433	435

出典：「生徒数調査関係資料」（私学振興課）

「熊本私学白書作成等に係る実態調査」

（私学振興課）

なお、私立中学校8校のうち7校が寄宿舍を設置しており、多い学校では在籍生徒の14.0%が寄宿舍を利用している。

表 - 30 私立中学校寄宿舍入舎状況

年度	寄宿舍設置校数 (校)	寄宿舍入舎生徒数 (人)	在籍者に占める割合 (%)
令和元年度	8	93	6.4
2	7	86	5.9
3	7	78	5.4
4	7	58	4.1
5	7	57	4.3

出典：「熊本私学白書作成等に係る実態調査」（私学振興課）

(2) 生徒数

各私立中学校の生徒数は表 - 31のとおりである。令和5年度(2023年度)では、定員1,905人に対し、1,339人が在籍し、定員の充足率は前年度より3.8ポイント減少し、70.3%となっている。

男女別にみると、女子校が2校、共学校が6校となっており、男女別構成比は男子が42.7%、女子が57.3%と女子の割合が高い。

表 - 31 学校別生徒数

(単位：人)

学校名	定員		実員			
	生徒数	学級数	生徒数			学級数
			男子	女子	計	
尚綱中学校	240	6	0	49	49	3
熊本信愛女学院中学校	240	6	0	151	151	6
真和中学校	240	6	99	100	199	6
九州学院中学校	345	9	186	137	323	9
ルーテル学院中学校	240	9	106	111	217	8
熊本マリスト学園中学校	240	6	65	64	129	5
熊本学園大学附属中学校	240	6	93	134	227	8
文徳中学校	120	3	23	21	44	3
合計	1,905	51	572	767	1,339	48

(令和5年(2023年)5月1日現在)

出典：「令和5年度(2023年度) 生徒数調査」（私学振興課）

(3) 教職員数

私立中学校の本務教員数は、表 - 32のとおりであり、前年度より2人増の102人である。

表 - 32 本務教員数 (単位：人)

区分	校長	副校長・教頭	教諭	助教諭	養護教諭・養護助教諭	講師	合計
人数	-	2	81	1	3	15	102

(令和5年(2023年)5月1日現在)

出典：「令和5年度(2023年度) 学校基本調査」(文部科学省)

私立中学校の本務職員数は表 - 33のとおりであり、前年度より4人増の19人である。

表 - 33 本務職員数 (単位：人)

年度	令和元年度	2	3	4	5
本務職員数	13	15	19	15	19

(各年5月1日現在)

出典：「令和5年度(2023年度) 学校基本調査」(県統計調査課)

(4) 卒業後の状況

令和5年(2023年)3月の私立中学校卒業者は、県全体の卒業者の2.9%の47人となっている。

卒業者の進路状況は表 - 34のとおりであり、高等学校等進学者は99.4%で県全体より0.7%高い。

表 - 34 卒業者進路別内訳 (単位：人)

区分	卒業者総数	実 員			
		高等学校等進学者	専修学校等進学者	就職者	その他
私立	475	472	1	0	2
国公立	16,041	15,835	72	39	95
合計	16,516	16,307	73	39	97

注：高等学校等進学者 = 高等学校進学者 + 高等専門学校進学者 + 特別支援学校進学者

出典：「令和5年度(2023年度) 学校基本調査」(県統計調査課)

「生徒数調査関係資料」(私学振興課)

この進学者のうち高等学校等への進学先は表 - 35のとおりであり、令和5年度(2023年度)では、併設高校が82.0%を占めている。

表 - 35 高等学校等進学者の内訳 (令和5年(2023年)3月卒業者)

区分	高等学校等進学者	高等専門学校等進学者	特別支援学校進学者	高等学校進学者				
				併設高校進学者	県 内		県 外	
					国公立	私立	国公立	私立
進学者数(人)	472	4	0	387	41	31	2	7
構成比(%)	-	0.8	0.0	82.0	8.7	6.6	0.4	1.5

出典：「令和5年(2023年)3月 中学校卒業生進路状況調査」(私学振興課)

表 - 36 卒業者の進学率の推移 (単位：%)

年度 区分	令和元	2	3	4	5
私立	99.2	99.6	99.1	99.4	99.4
国公立	99.2	99.1	99.2	99.1	98.7
県全体	99.2	99.1	99.2	99.1	98.7

注：進学率は高等学校等進学者の割合を表す

出典：「学校基本調査」(文部科学省)

(5) 学校納付金

私立中学校の令和5年度(2023年度)における授業料等納付金の平均月額、前年度に比べ0.9%減の42,938円となっている。その内訳は、授業料30,888円、その他の納付金が12,050円となっている。

表 - 37 平均月額納付金推移 (単位：円)

年度 区分	令和元年度	2	3	4	5
授業料	25,562	29,075	30,888	30,888	30,888
その他の納付金	16,113	13,084	12,151	12,451	12,050
合計	41,675	42,159	43,039	43,339	43,339
伸び率(%)	0.8	1.2	2.1	0.7	0.9

出典：「授業料等調査」(私学振興課)

また、入学時に納める入学金等の入学時納付金の平均額は表 - 38のとおりであり、令和5年度(2023年度)は、115,000円となっている。その内訳は、入学金63,750円、その他の納付金51,250円となっている。

また、入学試験受験料の令和5年度(2023年度)平均額は、前年度と変わらず10,000円となっている。

表 - 38 入学時納付金推移 (単位：円)

年度 区分	令和元年度	2	3	4	5
入学金	63,750	66,250	63,750	63,750	63,750
その他の納付金	51,250	51,250	51,250	51,250	51,250
合計	115,000	117,500	115,000	115,000	115,000
伸び率(%)	0.8	2.2	2.1	0.0	0.0

出典：「授業料等調査」(私学振興課)

3 專 修 学 校

4 各 種 学 校

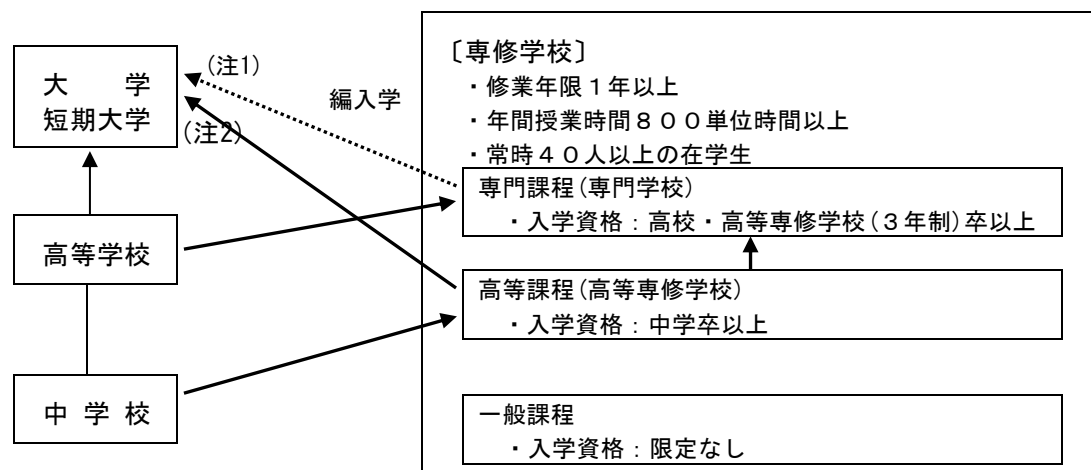
3 専修学校

(1) 概要

専修学校は、昭和51年の制度発足以来、社会の多様な要請に応え、実践的な職業教育・専門技術教育を行う機関として着実に発展してきている。

また、近年、地域に密着した生涯学習の場としてその重要性も高まっている。

なお、専修学校制度の概要は、下図のとおりである。



注1：修業年限2年以上、課程の修了に必要な総授業時数が1,700単位時間以上の専門学校卒業生（大学入学資格を有する者に限る）に限る。

注2：文部科学大臣の指定を受けた修業年限3年以上の高等専修学校卒業生に限る。

[各種学校]

- ・修業年限1年以上（簡易なものは3ヶ月以上）
- ・年間授業時間680時間以上
- ・入学資格：限定なし

(2) 学校数

県内には専修学校は52校あるが、そのうち約92.3%の48校が私立である（表-39）。所在地別学校数及び分野別の学校延数は表-40のとおりである。

所在地別にみると、熊本市に全体の約70.8%の34校が集中している。

表-39 私立専修学校学校数

（単位：校）

私立	国立	公立	計
48	0	4	52

注：私立には分校1校含む（令和5年（2023年）5月1日現在）

出典：「令和5年度（2023年度）学校基本調査」

（文部科学省）

表-40 所在地別・分野別私立専修学校（延）数

(単位：校)

区分	熊本市	八代市	人吉市	荒尾市	玉名市	天草市	山鹿市	菊池市	合志市	宇城市	阿蘇郡	計	
学校数	34	4	1	1	1	1	1	1	0	3	1	48	
分野別 学校 延数	工業関係	9		1								10	
	農業関係											0	
	医療関係	9	2				1	1	1		2	16	
	衛生関係	5	1									6	
	教育社会福祉関係	5				1						6	
	商業実務関係	7	1		1					1	1	11	
	服飾家政関係	2		1								3	
	文化教養関係	12	1									1	14
	計	49	5	2	1	1	1	1	1	0	3	2	66

注：学校数には分校を含む。

(令和5年(2023年)5月1日現在)

出典：「令和5年度(2023年度) 私立学校実態調査」(私学振興課)

分野別の学校数をみると、1校で多数の分野を持つ学校もあり、総延数は66校となっている。

このうち、看護師・歯科衛生士・理学療法士等の養成を目的とする医療関係が16校(24.2%)と最も多く、次いで音楽・外国語・大学受験等の文化教養関係が14校(21.2%)となっている。

年度別私立専修学校数の推移は表-41のとおりである。専修学校は昭和51年の学校教育法の改正によって新たに制度化されたものであり、現在の48校のうち24校(50.0%)は各種学校から移行したものである。

表-41 年次別私立専修学校数

(単位：校)

年度	平成					令和				
	26	27	28	29	30	元	2	3	4	5
学校数	48 (1)	48 (1)	50 (1)	50 (1)	50 (1)	49 (1)	47 (1)	48 (1)	48 (1)	48 (1)
参考	新設校数		4					1		
	廃止校数		2		1	2				

注：()内は、分校数(内数)。

(各年度5月1日現在)

出典：「私立学校許認可関係資料」(私学振興課)

専修学校は、大学、高等学校、中学校などと異なり、設置者を学校法人に限定していないので、設置者の形態は様々である。

令和5年度(2023年度)の学校数を設置者別にみると、私立学校法に基づく学校法人又は準学校法人(専修学校又は各種学校の設置のみを目的とする法人をいう。)によるものが34校(70.8%)、一般社団法人によるものが7校(14.6%)、その他の法人によるものが5校(10.4%)、個人立が2校(4.2%)となっている。このうちその他の法人は、医療法人(1校)及び特殊法人(2校)及び独立行政法人(2校)である。(表-42)

表-42 設置者別課程の設置状況

(単位：校)

区分	専門課程のみ	専門課程＋高等課程	専門課程＋一般課程	専門課程＋高等課程＋一般課程	高等課程のみ	一般課程のみ	計
学校法人立	8	1			1		10
準学校法人立	16 (1)	4	3	1			24
一般社団法人立	1	2			4		7
その他法人立	4					1	5
個人立	1		1				2
計	30	7	4	1	5	1	48

注：（ ）内は、分校数（内数）。

(令和5年(2023年)5月1日現在)

出典：「令和5年度(2023年度)私立学校実態調査」(私学振興課)

(3) 課程・学科

専修学校は、その入学資格によって、次の3つの課程に分けられている。①高等学校卒業者又はこれに準ずる学力があると認められた者等を対象とする「専門課程」（この課程を置く専修学校は「専門学校」と称することができる。）、②中学校卒業者又はこれに準ずる学力があると認められた者等を対象とする「高等課程」（この課程を置く専修学校は「高等専修学校」と称することができる。）、③特に入学資格が定められていない「一般課程」である。

課程の設置状況は表-42のとおりであるが、48校のうち42校(87.5%)が専門課程を設置しており、高等課程は13校(27.1%)、一般課程は6校(12.5%)となっている(複数の過程を有する専修学校もあるため合計は100%にならない。)

次に、学科設置状況については表-43のとおりである。令和5年(2023年)5月1日現在、私立専修学校には全部で148学科が設置されている。

表-43 設置者別・分野別・課程別学科数

(単位：学科)

区分	学 科 数																											総 数
	工業関係			農業関係			医療関係			衛生関係			教育・社会 福祉関係			商業関係			服飾・家政 関係			文化・教養 関係			計			
	専 門	高 等	一 般	専 門	高 等	一 般	専 門	高 等	一 般	専 門	高 等	一 般	専 門	高 等	一 般	専 門	高 等	一 般	専 門	高 等	一 般	専 門	高 等	一 般	専 門	高 等	一 般	
学校法人立	7						1			2	13				9						14	1		44	3	0	47	
準学校法人立	13	2					14			2	1	2	2		10	2	1	3			20		3	64	5	6	75	
財団法人立																								0	0	0	0	
社団法人立							4	6																4	6	0	10	
その他の法人立							7			1		1													8	0	1	9
個人立															1		4	2							3	0	4	7
小計	20	2	0	0	0	0	26	6	0	3	3	3	15	0	0	20	2	5	5	0	0	34	1	3	123	14	11	148
合計	22			0			32			9			15			27			5			38			148			148

(令和5年(2023年)5月1日現在)

出典：「令和5年度(2023年度)私立学校実態調査」(私学振興課)

学科を昼夜別に見ると、148学科のうち141学科（95.3%）が昼間学科で、夜間は7学科（4.7%）となっている。夜間に行われている学科は医療系2学科、商業系3学科、教育・社会福祉系1学科、服飾系1学科となっている。

また、各学科の修業年限は、2年間未満が34学科（23.0%）、2年間で73学科（49.3%）、3年間で27学科（18.2%）、4年間で14学科（9.5%）となっている。

これらの学科の設置状況の推移をみると、専修学校制度が創設された昭和51年は、専門課程の学科が40学科、高等課程が20学科、一般課程が5学科であったのに対し、令和5年度(2023年度)では専門課程の学科は約3倍の123学科、一般課程の学科も約2倍の11学科になっている。しかし、高等課程については14学科と減少している。

また、最近3か年の動きを分野（学科）別にみると表-44のとおりである。

表-44 分野別学科数の推移

(単位：学科)

区 分	令和3年度				令和4年度				令和5年度				
	専門 課程	高等 課程	一般 課程	計	専門 課程	高等 課程	一般 課程	計	専門 課程	高等 課程	一般 課程	計	
工 業	測量	1			1	1		1	1			1	
	土木・建築	6			6	6		6	4			4	
	電気・電子	1			1	1		1	1			1	
	自動車整備	3			3	3		3	3			3	
	機械	1			1	1		1	1			1	
	情報処理	9	2		11	9	2	11	9	2		11	
	計	21	2	0	23	22	2	0	24	20	2	0	22
農 業	農業等				0			0				0	
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
医 療	看護	8	6		14	8	6	14	8	6		14	
	准看護				0			0				0	
	歯科衛生	2			2	2		2	2			2	
	歯科技工	1			1	1		1	1			1	
	理学・作業療法	11			11	10		10	10			10	
	臨床工学	1			1	1		1	1			1	
	義肢装具	1			1	1		1	1			1	
	救急救命	1			1	1		1	1			1	
	その他	2			2	2		2	2			2	
	計	27	6	0	33	26	6	0	32	26	6	0	32
衛 生	調理		2	1	3		2	1	3		1	1	2
	理容			1	1			1	1			1	1
	美容	3	1	1	5	3	1	1	5	3	1	1	5
	製菓・製パン		1		1		1		1		1		1
	計	3	4	3	10	3	4	3	10	3	3	3	9
教 育 福 祉	教員・保育士養成	10			10	10		10	10			10	
	介護福祉	4			4	4		4	4			4	
	社会福祉	1			1	1		1	1			1	
	計	15	0	0	15	15	0	0	15	15	0	0	15
商 業 実 務	商業	2	1		3	2	1	3	2	1		3	
	経理・簿記	7		2	9	7		2	9		2	9	
	秘書・受付	1		1	2	1		1	2		1	2	
	経営				0			0				0	
	旅行(観光・ホテル)	1			1	1		1	1			1	
	情報・ビジネス	2	1		3	2	1	3	2	1		3	
	医療事務	7		1	8	7		1	8		1	8	
計	20	2	4	26	20	2	4	26	20	2	4	26	
服 飾 家 政	和洋裁	3			3	3		3	3			3	
	ファッションビジネス	2			2	2		2	2			2	
	計	5	0	0	5	5	0	0	5	0	0	5	
文 化 教 養	デザイン	2			2	2		2	2			2	
	外国語	3			3	3		3	3			3	
	受験・補習			3	3			3			3	3	
	法律行政	7			7	7		7	7			7	
	日本語	12			12	13		13	13			13	
	その他	9	1	1	11	9	1	1	11	9	1	1	11
	計	33	1	4	38	34	1	4	39	34	1	4	39
合 計	124	15	11	150	125	15	11	151	123	14	11	148	

(各年度5月1日現在)

出典：「私立学校実態調査」(私学振興課)

(4) 生徒数

令和5年度(2023年度)における県内私立専修学校の在籍生徒数は7,424人で、前年度より57人(0.8%)の減となっている。県内専修学校在籍生徒総数7,880人の94.2%である(表-45)。

表-45 専修学校在籍者数

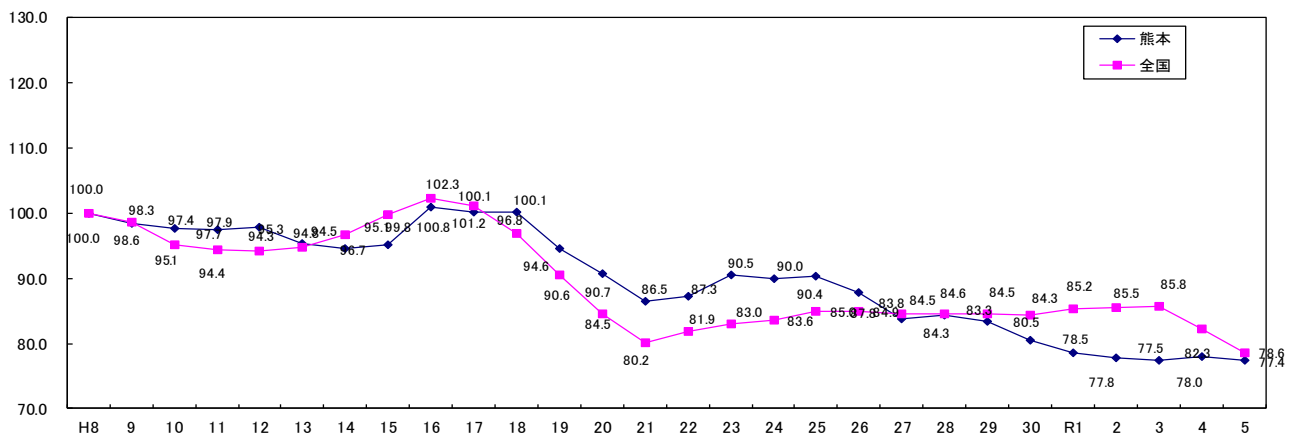
(単位:人、%)

年度	熊本県			全国		
	私立	国公立	計	私立	国公立	計
令和元年度	7,535 (93.8)	497 (6.2)	8,032 (100.0)	635,015 (96.3)	24,678 (3.7)	659,693 (100.0)
2	7,460 (94.0)	478 (6.0)	7,938 (100.0)	637,135 (96.4)	24,039 (3.6)	661,174 (100.0)
3	7,434 (93.9)	480 (6.1)	7,914 (100.0)	638,882 (96.5)	23,253 (3.5)	662,135 (100.0)
4	7,481 (94.0)	478 (6.0)	7,959 (100.0)	612,846 (96.4)	22,778 (3.6)	635,624 (100.0)
5	7,424 (94.2)	456 (5.8)	7,880 (100.0)	585,864 (96.4)	22,087 (3.6)	607,951 (100.0)

(各年度5月1日現在)

出典:「学校基本調査」(文部科学省)

表-46 私立専修学校生徒数伸び率の推移(平成8年度=100)



出典:「学校基本調査」(文部科学省)

私立専修学校の生徒数を分野・学科別にみると、令和5年度(2023年度)は、表-47のとおり看護・准看護関係学科(1,590人)がある医療関係分野が最も多く、全体の43.7%の3,241人が在籍している。

表-47 学科別生徒数

(単位:人)

区 分	令和3年度				令和4年度				令和5年度				
	専門 課程	高等 課程	一般 課程	計	専門 課程	高等 課程	一般 課程	計	専門 課程	高等 課程	一般 課程	計	
工 業	測量	21			21	27			27	23			23
	土木・建築	205			205	218			218	216			216
	電気・電子	31			31	35			35	36			36
	自動車整備	286			286	264			264	216			216
	機械	26			26	12			12	10			10
	情報処理	342	106		448	336	98		434	332	95		427
	その他					7			7	14			14
計	911	106	0	1,017	899	98	0	997	847	95	0	942	
農 業	農業等				0				0				0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医 療	看護	1,350			1,350	1,346			1,346	1,268			1,268
	准看護		393		393		395		395		322		322
	歯科衛生	246			246	256			256	263			263
	歯科技工	31			31	25			25	22			22
	理学・作業療法	1,051			1,051	1,039			1,039	1,018			1,018
	臨床工学	133			133	118			118	97			97
	義肢装具	41			41	52			52	56			56
	救急救命	89			89	90			90	95			95
	その他	103			103	108			108	100			100
計	3,044	393	0	3,437	3,034	395	0	3,429	2,919	322	0	3,241	
衛 生	調理		42	20	62		38	17	55		42	26	68
	理容			4	4			6	6			15	15
	美容	433	4	6	443	519	3	11	533	561	2	10	573
	製菓・製パン		27		27		32		32		41		41
	計	433	73	30	536	519	73	34	626	561	85	51	697
教 育 福 祉	教員・保育士養成	305			305	302			302	309			309
	介護福祉	91			91	84			84	54			54
	社会福祉	35			35	30			30	25			25
	計	431	0	0	431	416	0	0	416	388	0	0	388
商 業 実 務	商業	51			51	20			20	14			14
	経理・簿記	193		23	216	205		22	227	177		24	201
	秘書・受付	21		2	23	25		2	27	36		2	38
	旅行	22			22	32			32	26			26
	情報				0	10			10	36			36
	医療事務	186		5	191	182		5	187	172		5	177
	計	473	0	30	503	474	0	29	503	461	0	31	492
服 飾 家 政	和洋裁	44			44	36			36	36			36
	ファッションビジネス	25			25	18			18	15			15
	計	69	0	0	69	54	0	0	54	51	0	0	51
文 教 養	デザイン	165			165	182			182	183			183
	外国語	104		2	106	66		2	68	50		2	52
	受験・補習			626	626			595	595			572	572
	法律行政	325			325	288			288	274			274
	日本語	55			55	139			139	326			326
	その他	164			164	184			184	206			206
計	813	0	628	1,441	859	0	597	1,456	1,039	0	574	1,613	
合 計	6,174	572	688	7,434	6,255	566	660	7,481	6,266	502	656	7,424	

(各年度5月1日現在)

出典:「私立学校実態調査」(私学振興課)

私立専修学校の生徒数を男女別にみると表-48のとおりである。

表-48 男女別生徒数

(単位：人、%)

年度	男子		女子		総数	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率
令和元年度	3,244	43.1	4,291	56.9	7,535	100.0
2	3,211	43.0	4,249	57.0	7,460	100.0
3	3,196	43.0	4,238	57.0	7,434	100.0
4	3,213	42.9	4,268	57.1	7,481	100.0
5	3,203	43.1	4,221	56.9	7,424	100.0

(各年度5月1日現在)

出典：「学校基本調査」(文部科学省)

(5) 教職員数

令和5年度(2023年度)における私立専修学校の本務教職員数は741人で、その内訳は教員が517人、職員が224人となっている。(表-49)

なお、本務教員1人当たりの生徒数は14.4人となっている。

表-49 本務教職員数

(単位：人)

区分	年度					
	令和元年度	2	3	4	5	
本務教員	539	520	522	512	517	
本務職員	199	204	222	215	224	
計	738	724	744	727	741	

(各年度5月1日現在)

出典：「学校基本調査」(文部科学省)

(6) 学校納付金

私立専修学校専門課程の分野別学校納付金の平均額は表-50のとおりである。

表-50 専門課程授業料等の平均値(令和5年度(2023年度))(単位：円)

分野	区分			
	授業料(月額)	入学金	受験料	
工業	54,020	127,647	15,000	
農業	-	-	-	
医療	46,812	264,583	18,142	
衛生	48,333	80,000	20,000	
教育社会福祉	41,383	144,000	17,500	
商業実務	48,365	125,385	17,308	
服飾家政	38,125	125,000	10,000	
文化教養	51,736	96,000	19,333	

出典：「令和5年度(2023年度)私立学校実態調査」(私学振興課)

(7) 専門士

専修学校の専門課程における学習の成果を適切に評価し、その社会的評価の向上を図り、生涯学習の振興に資するために、下記の要件を満たす課程の修了者に対し専門士の称号が付与されることになった。

専門士付与の要件

- ①修業年限が2年以上であること。
- ②課程の修了に必要な総授業時数が1,700単位時間(62単位)以上であること。
- ③試験等により成績評価を行い、その評価に基づいて課程修了の認定を行っていること。

制度が創設された平成6年度(1994年度)に、全国で2,085校4,554学科が認定された。

令和5年(2023年)3月現在、県内では表-51、表-52のとおりで、私立については36校80学科が認定されている。

表-51 専門士認定校数

私立	36校
国公立	4校
計	40校

(令和5年(2023年)3月現在)

出典:「文部科学省告示」

表-52 専門士認定学科数

区分	工業	農業	医療	衛生	社会福祉	商業	服飾家政	文化教養	計
私立	19		16	3	12	12	4	14	80
国公立		3	2			1			6
計	19	3	18	3	12	13	4	14	86

(令和5年(2023年)3月現在)

出典:「文部科学省告示」

(8) 高度専門士

専修学校の専門課程における教育内容の高度化及び修業年限の長期化を踏まえ、修了者の学習の成果を適切に評価し、その社会的評価の向上を図るため、下記の要件を満たす高度な職業教育を行う専修学校の専門課程の修了者に対し、これまでの「専門士」とは異なる「高度専門士」の称号が付与される。

高度専門士付与の要件

- ①修業年限が4年以上であること。
- ②課程の修了に必要な総授業時数が3,400単位時間(124単位)以上であること。
- ③体系的に教育課程が編成されていること。
- ④試験等により成績評価を行い、その評価に基づいて課程修了の認定を行っていること。

制度が創設された平成17年度(2005年度)に、全国で119校192学科が認定された。県内では、令和5年(2023年)3月現在、私立の専修学校8校13学科が認定されている。

(9) 職業実践専門課程

専修学校の専門課程であって、職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成することを目的として専攻分野における実務に関する知識、技術及び技能について組織的な教育を行うものを、「職業実践専門課程」として文部科学大臣が認定して奨励することにより、専修学校の専門課程における職業教育の水準の維持向上を図ることを目的とするものである。

職業実践専門課程の要件

- ① 当該専修学校専門課程の修了者が専門士又は高度専門士と称することができる専修学校専門課程として文部科学大臣が認めた課程であること。
- ② 専攻分野に関する企業、団体等との連携体制を確保して、授業科目の開設、その他の教育課程の編成を行っていること。
- ③ 企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習の授業を行っていること。
- ④ 企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。
- ⑤ 学校関係者評価を行い、その結果を公表していること。
- ⑥ 学校関係者評価を行うに当たって、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。
- ⑦ 企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。

平成25年度(2013年度)から制度が創設され、令和4年度(2022年度)までに全国で1,093校3,165学科が認定された。県内では、令和5年(2023年)3月現在、私立の専修学校17校50学科が認定されている。

4 各種学校

(1) 概要

県内の私立各種学校には、生徒が在籍していない2校（休校中）を除く5校に1,574人が在籍している。

（令和5年（2023年）5月1日現在）

各種学校は、学校教育に類する教育を行う教育施設（専修学校及び他の法律に特別の規定があるものを除く。）であり、その教育形態や規模は様々である。

(2) 学校数

令和5年（2023年）5月1日現在、認可されている県内の私立各種学校は7校ある。

学校数が最も多かった昭和45年度の135校に比べると、5.2%に減少している。また、専修学校制度が創設された直後の昭和52年度の83校と比較すると8.4%となっている。所在地別の私立各種学校数は表-53のとおりである。

表-53 分野別・所在地別各種学校数 (単位：校)

区 分		熊本市	人吉市	山鹿市	天草市	合計
医療	准看護		1			1(0)
服飾・家政	和洋裁			1	1(1)	3(2)
	料理	1(1)				
文化・教養	音楽	1				3(0)
	受験					
	自動車操縦	1				
その他		1				
計		4(1)	1(0)	1(0)	1(1)	7(2)

注：()内は、休校中の学校数（内数） (令和5年（2023年）5月1日現在)

出典：「令和5年度（2023年度）私立学校実態調査」（私学振興課）

表-54 設置者別学校数推移 (単位：校)

年度 \ 区分	学校法人立	準学校法人立	財団法人立	社団法人立	個人立	合計
令和元年度	1	1	0	1	3 (2)	6 (2)
2	1	1	0	1	3 (2)	6 (2)
3	1	1	0	1	3 (2)	6 (2)
4	1	1	0	1	3 (2)	6 (2)
5	1	1	0	2	3 (2)	7 (2)

注：()内は、休校中の各種学校（内数） (各年度5月1日現在)

出典：「私立学校実態調査」（私学振興課）

(3) 生徒数・教職員数等

県内の私立各種学校の在籍生徒数は1,574人である。

平成18年度(2006年度)に1校あった公立の各種学校が廃止となったため、県内の各種学校は私立のみとなった。

表-55 私立各種学校生徒数

区分	私 立			公 立			県 全 体		
	令和3年度	4	5	令和3年度	4	5	令和3年度	4	5
生徒数 (人)	1,377	1,431	1,574	-	-	-	1,377	1,431	1,574
割 合 (%)	100.0	100.0	100.0	-	-	-	100.0	100.0	100.0

(各年度5月1日現在)

出典：「学校基本調査」(文部科学省)

分野別にみると、表-56のとおりで、文化教養分野の1,423人が全体の90.4%を占めている。

表-56 分野別生徒数

(単位：人)

年度	区 分	医 療	衛 生	服飾・家政	文化・教養	その他	合 計
令和元年度		30	0	30	1,019 (899)	0	1,079 (899)
2		31	0	20	1,070 (986)	0	1,121 (986)
3		28	0	18	1,331 (1,251)	0	1,377 (1,251)
4		39	0	11	1,381 (1,284)	0	1,431 (1,284)
5		28	0	13	1,423 (1,340)	110	1,574 (1,340)

注：()は自動車学校の生徒数(内数)

(各年度5月1日現在)

出典：「私立学校実態調査」(私学振興課)

また、男女別にみると表-57のとおり、女子が多い。このことは、音楽、家政及び准看護の分野に女子が集中していることによる。

表-57 生徒数男女別内訳(自動車学校の生徒数を除く) (単位：人、%)

年度	区 分	総 数		男 子		女 子	
		実数	比率	実数	比率	実数	比率
令和元年度		180	100.0	35	23.7	145	76.3
2		135	100.0	24	17.8	111	82.2
3		126	100.0	28	22.2	98	77.8
4		147	100.0	34	23.1	113	76.9
5		234	100.0	86	36.8	148	63.2

(各年度5月1日現在)

出典：「私立学校実態調査」(私学振興課)

さらに設置者別にみると、一般社団法人立が138人（59.0%）と最も多く、次いで学校法人立が83人（35.4%）、準学校法人立13人（5.6%）の順になっている。

このように、各種学校は専修学校に比べ学校数や学科の種類も少なく、施設、設備面からみても比較的小規模である。

県内の私立各種学校の本務教職員数は表-58のとおりである。

表-58 本務教職員の推移

（単位：人）

年度	本務教員数						本務職員数 計
	医療	衛生	服飾・家政	文化・教養	その他	合計	
令和元年度	4	0	0	57 (54)	0	61 (54)	41
2	4	0	0	56 (53)	0	60 (53)	42
3	4	0	0	56 (53)	0	60 (53)	43
4	4	0	0	65 (62)	0	69 (62)	46
5	4	0	0	63 (62)	20	87 (62)	60

注：（ ）内は、自動車学校の教員数（内数）

（各年度5月1日現在）

出典：「私立学校実態調査」（私学振興課）

表-59 授業料等の例

（単位：円）

区 分		授業料等 (月額)	入学金等	受験料
分 野	学科内容			
医 療	准看護	25,000	50,000	20,000
服飾・家政	洋 裁	38,000	10,000	5,000
文化・教養	音 楽	6,920	0	0
その他	-	83,000	300,000	10,000

出典：「令和5年度(2023年度) 私立学校実態調査」（私学振興課）

5 私立学校審議会

6 私学助成

5 私立学校審議会

私立学校法（昭和24年法律第270号）に基づき、私立大学以外の私立学校、私立専修学校、私立各種学校の設置に関する事項及びこれらの学校を設置する法人の設立等、知事から諮問された事項について審議を行うため、県の附属機関として私立学校審議会（委員定数12名）が設置されている。

また、審議会は、これらの学校に関する重要事項について知事に建議を行うことができる。

最近の活動状況は、表－60のとおりである。

表－60 熊本県私立学校審議会答申等件数

（単位：件）

年度	平成26	27	28	29	30	令和元	2	3	4	5
開催回数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
① 学校に関する事項	学校（課程・学科）の設置	1	4	1	0	0	0	1	0	1
	高等学校			1						
	中学校									
	幼稚園									
	専修学校	1	4					1		1
	各種学校								1	
	学校（課程・学科）の廃止	18	12	1	5	4	5	0	1	3
	高等学校				2	2				
	中学校						1			
	幼稚園	18	8	1	3	1	2		1	2
	専修学校		4			1	2			1
	各種学校									
	学校設置者の変更	0	0	0	2	0	1	0	0	0
	高等学校									
	中学校									
	幼稚園				2		1			
	専修学校									
	各種学校									
	収容定員に係る学則の変更	5	3	0	1	3	1	0	0	0
	高等学校	1	2		1	3				
中学校		1								
幼稚園	4					1				
専修学校										
各種学校									1	
目的変更	0	0	0	0	0	1	0	0	0	
専修学校						1			2	
② 学校法人に関する事項	寄附行為の認可		1	1				1		
	解散		1	1	1	1	1			
③ その他			1	1	2	1	1	3	2	
答申（①+②+③）	24	21	5	10	10	10	3	4	6	
建議	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
事業計画の審議	5	0	1	0	1	0	1	1	0	

（令和5年度（2023年度）は10月1日現在）

出典：「私立学校審議会資料」（私学振興課）

6 私学助成

県の私学助成事業は、私立学校振興助成法（昭和50年法律第61号）第1条に規定する「私立学校の教育条件の維持及び向上並びに私立学校に在学する幼児、児童、生徒又は学生に係る修学上の経済的負担の軽減を図るとともに私立学校の経営の健全性を高め、もって私立学校の健全な発達に資すること」を目的としており、次の7種類の事業に大別することができる。

- (1) 経常費助成
- (2) 授業料等減免補助事業
- (3) 研修費補助事業
- (4) 教職員厚生補助事業
- (5) 設備、教材費補助事業
- (6) 私立高等学校等就学支援金事業
- (7) 私立学校施設耐震化促進事業

県では、主に（1）から（7）までの事業に要する経費を「私学振興予算」として毎年予算に計上している。

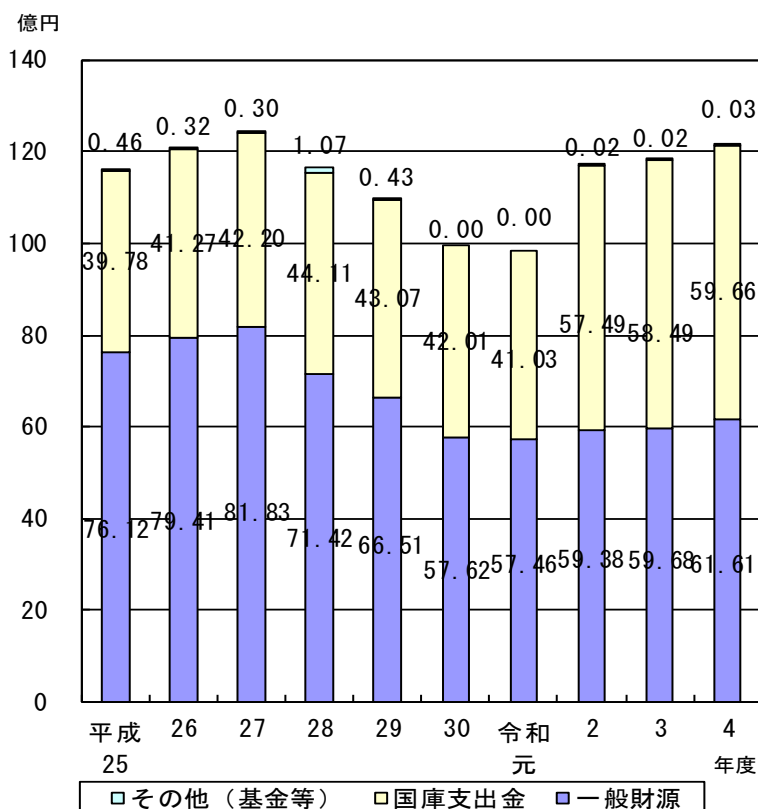
「私学振興予算」の決算額は表-61のとおりであり、財源の中で国庫支出金の額は、平成18年度（2006年度）以降減少していたが、私立高等学校等就学支援金事業の開始により平成22年度（2010年度）以降は、増加している。

表-61 私学振興助成の決算額

（単位：億円）

年度	平成25	26	27	28	29	30	令和元	2	3	4
一般財源	76.12	79.41	81.83	71.42	66.51	57.62	57.46	59.38	59.68	61.61
国庫支出金	39.78	41.27	42.20	44.11	43.07	42.01	41.03	57.49	58.49	59.66
その他（基金等）	0.46	0.32	0.30	1.07	0.43	0	0	0.02	0.02	0.03
計	116.36	121.00	124.33	116.60	110.01	99.63	98.49	116.89	118.19	121.30

※H29年度以降の決算額には幼稚園分は含まない



出典：「決算資料」（私学振興課）

(1) 経常費助成事業

ア 目的及び種類

経常費助成事業は、私立学校を設置する学校法人に対し、その教育活動に要する経常費の一部を補助するもので、①私立学校の教育条件の維持向上、②生徒等の修学上の経済的負担の軽減、③私立学校の経営の健全性の高揚を図ることを目的としている。

私学助成は、県教育行政の主要施策の1つとして位置づけられており、その中でも、経常費助成事業は重要な役割を担っている。

イ 実績

経常費助成事業の推移は表-62のとおりで、私立学校経常費補助（一般補助）額の算定においては、国庫補助及び地方交付税の単価が重要な要素となっている。

表-62 私立学校経常費補助の実績 (単位：件)

年度	区分	高等学校（全日制）		中学校	
		総額 （千円）	生徒1人当たり （円）	総額 （千円）	生徒1人当たり （円）
平成30		5,548,247	336,379	446,159	325,188
令和元		5,539,347	340,715	477,051	328,773
2		5,634,162	345,040	484,967	333,310
3		5,631,166	348,722	489,496	337,350
4		5,707,344	353,527	480,996	342,346

注：高校については、単県上乘せ分を含む。

出典：「経常費補助事業資料」（私学振興課）

表-63 国の示す生徒1人当たり単価 (単位：円)

年度	区分	国庫補助金	地方交付税	計
令和元年度	高	55,611 (1.1)	280,700 (1.4)	336,311 (1.4)
	中	48,675 (1.1)	280,100 (1.4)	328,775 (1.4)
2	高	56,223 (1.1)	284,700 (1.4)	340,923 (1.4)
	中	49,210 (1.1)	284,100 (1.4)	333,310 (1.4)
3	高	56,729 (0.9)	288,100 (1.2)	344,829 (1.1)
	中	49,653 (0.9)	287,500 (1.2)	337,153 (1.2)
4	高	57,410 (1.2)	292,500 (1.5)	349,910 (1.5)
	中	50,249 (1.2)	291,900 (1.5)	342,149 (1.5)
5	高	57,927 (0.9)	296,100 (1.2)	354,027 (1.2)
	中	50,701 (0.9)	295,400 (1.2)	346,101 (1.2)

注：()内は対前年度伸び率(%)

出典：「経常費補助事業資料」（私学振興課）

(2) 授業料等減免補助事業

県内の私立高等学校等に在学する経済的に就学困難な生徒の授業料を減免している学校法人に対し、当該経費の一部を補助することにより、生徒の就学を支援することを目的とする事業である。補助実績の推移は表-64のとおりである。

平成21年度(2009年度)より雇用契約期間終了による失業に係る家計急変を対象とし、平成22年度(2010年度)より制度を更に拡充し、年収250万円未満程度の世帯の全額減免、年収350万円未満程度の低所得世帯まで授業料の一部減免を行うとともに、生活保護世帯の入学金の全額減免を実施し、平成26年度(2014年度)からは、専修学校高等課程も対象としてきた。

また、令和2年度(2020年度)からは、就学支援金制度の拡充により、上記の年収350万円未満程度の世帯が授業料実質無償化されたため、補助上限金額を引き上げている。

表-64 補助実績等推移

区 分		年 度				
		平成30	令和元	2	3	4
私立高等学校 授業料等減免事業	補助総額(円)	43,601,200	39,172,000	2,387,980	2,433,560	2,015,040
	補助単価(円)	・(授業料-就学支援金) ・入学金-5,650円	・(授業料-就学支援金) ・入学金-5,650円	・(授業料-就学支援金) ・入学金-5,650円	・(授業料-就学支援金) ・入学金-5,650円	・(授業料-就学支援金) ・入学金-5,650円
	補助対象法人数(法人)	20	21	13	13	12
	補助対象生徒数(人)	1,516	1,330	38	38	38

出典：「授業料減免補助事業資料」(私学振興課)

(3) 研修費補助事業

私立の中学、高校、幼稚園、専修学校及び各種学校の振興を図るため、これらの学校によって組織されている団体が行う教職員研修や調査研究等の事業に要する経費を補助している(表-65)。

表-65 補助実績推移

(単位：千円)

補助対象団体	年 度				
	平成30	令和元	2	3	4
熊本県私立中学校高等学校協会	4,415	4,415	4,387	3,630	2,420
一般社団法人熊本県専修学校各種学校連合会	543	543	515	412	412
計	4,958	4,958	4,902	4,042	2,832

出典：「私学団体補助事業資料」(私学振興課)

(4) 教職員厚生補助事業

私立学校教職員の身分の安定を促進し、教職員及び学校法人の負担の軽減を図るために、日本私立学校振興・共済事業団及び本県の私学退職金社団（一般社団法人熊本県私学教育振興会）に対し、県内私立学校教職員及び学校法人が負担する掛金の一部並びに退職金資金給付事業費の一部を補助している。

ア 日本私立学校振興・共済事業団補助事業

県内に所在する私立学校の教職員の長期給付に係る月額分の掛金に対し、中学校及び高等学校については5/1,000相当額を補助し、教職員と学校法人の負担をそれぞれ2.5/1,000ずつ軽減している。また、専修学校・各種学校については7/1,000相当額を補助し、教職員と学校法人の負担をそれぞれ3.5/1,000ずつ軽減している。

表-66 補助実績推移 (単位：千円)

年度	平成30	令和元	2	3	4	
補助金額	43,612	43,717	43,489	43,596	43,513	
学種別組合員数	高等学校	1,392	1,417	1,417	1,424	1,441
	中学校	118	114	113	118	123
	専修学校	563	531	533	524	499
	各種学校	1	2	1	1	1

注：学種別組合員数は、年間延組合員数を12で除して小数点以下を四捨五入したもの。

出典：「日本私立学校振興・共済事業団補助事業資料」（私学振興課）

イ 私立学校教職員退職金資金補助事業

県内の私立中学校、高等学校を設置する学校法人及び一般社団法人熊本県専修学校各種学校連合会で構成されている一般社団法人熊本県私学教育振興会が行う教職員退職金資金給付事業に対し、中高分については教職員標準給与35/1,000相当額、専各分については教職員標準給与30/1,000相当額を補助している。（表-67）。

表-67 補助実績推移 (単位：千円)

年度	平成30	令和元	2	3	4
一般社団法人熊本県私学教育振興会	178,873	180,334	180,367	181,367	182,095

出典：「私学団体補助事業資料」（私学振興課）

(5) 設備・教材費等補助事業

ア 私立専修学校高等課程教育費補助事業

修業年限3年以上の高等課程を有する私立専修学校を設置する法人に対し、昭和61年度から教材の購入費を生徒数に応じて補助している。

補助額等の実績は表-68のとおりである。

表-68 補助実績推移 (単位：千円、法人)

年 度	平成30	令和元	2	3	4
補助総額	1,215	1,035	1,245	1,590	1,425
補助単価	15	15	15	15	15
補助対象法人数	2	1	1	1	1

注：補助対象課程の生徒数が0の法人は含まない。

出典：「私立専修学校高等課程教育費補助事業資料」（私学振興課）

(6) 私立高等学校等就学支援金事業

全ての私立高校生等に対し、国の費用により、授業料に充てるための高等学校等就学支援金の支給が平成22年度(2010年度)から開始された。

一律分(月額9,900円上限)に加えて、生徒の保護者等の所得状況(市町村民税の課税所得と調整控除額により判断)により加算額が支給される。

平成26年度(2014年度)の入学生から学年進行にて新制度の対象となり、年収約910万円を基準額とする所得制限及び公私間格差是正のための加算の拡充、中退により就学支援金の対象となくなった生徒については学び直し支援金(国庫補助10/10)への継続した就学支援がなされている。

なお、本県においては、国の制度の対象とならない私立高等学校等に36月(定時制・通信制は48月)を超えて在学する生徒や、専攻科の生徒に対しても、支援を行っている。

表-69 支給実績(令和4年度) (単位：人、円)

区分	国費分		学び直し		県費分		専攻科分		合計	
	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額
加算なし	5,126	581,704,200	7	366,609	9	688,422	105	18,024,700	5,247	600,783,931
加算あり	11,160	3,955,730,433	34	4,165,722	31	4,980,679	87	31,422,200	11,312	3,996,299,034
合計	16,286	4,537,434,633	41	4,532,331	40	5,669,101	192	49,446,900	16,559	4,597,082,965

出典：「熊本県高等学校等就学支援金資料」（私学振興課）

(7) 私立学校施設安全ストック形成促進事業

本県の私立学校の耐震化率が62.4%（平成24年(2012年)4月1日現在）と全国的にも低位であり、公立との差も大きいことから、私立学校の耐震化を促進するため、現行の国庫補助制度に加え、耐震診断、補強、改築に係る県単独の新たな補助制度として、「私立学校施設耐震化促進事業」を平成24年度(2012年度)に創設した。

本制度の創設により、耐震化率を平成28年(2016年)4月1日現在で75%に引き上げることを目指し、耐震化を促進した結果、令和5年(2023年)4月1日で95.5%となった。

平成28年度(2016年度)からは、アスベスト対策や非構造部材の耐震対策も補助対象に加えるとともに、名称を「私立学校施設安全ストック形成促進事業」に改称。

表-70 補助率

事業種別		Is値	補助率		
			国	県	計
診断		—	1/3	1/3	2/3
補強	高等学校	0.3未満	1/2	1/4	3/4
		0.7未満	1/3	1/6	1/2
改築	高等学校	0.3未満	1/3	1/6	1/2
		0.7未満	-		1/6
材非 対の構 策耐造 震部	高等学校	吊り天井、照明、バスケットゴール等	1/3	1/6	1/2

出典：「熊本県私立学校施設安全ストック形成促進事業補助金資料」
(私学振興課)

表-71 補助実績

区分		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
		棟数	補助額(円)	棟数	補助額(円)	棟数	補助額(円)
耐震診断	高等学校	2(0)	2,443,000 (0)	0(0)	0(0)	2(0)	2,078,000 (0)
補強	高等学校	1(0)	9,157,000 (0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
改築	高等学校	1(0)	7,019,000 (0)	0(0)	0(0)	1(0)	85,419,000 (0)
非構造部材の耐震対策	高等学校	2(0)	10,683,000 (0)	0(0)	0(0)	1(0)	6,416,000 (0)

※1 棟数及び補助額は当年度に完了し、支出した額であり、前々年度及び前年度からの繰越を含み、翌年度への繰越分を除く。

※2 棟数及び補助額のうち、前々年度及び前年度からの繰越分は（ ）書きで記載。

出典：「熊本県私立学校施設安全ストック形成促進事業補助金資料」(私学振興課)

資料

第1 生徒数等

1 総括

(1) 年度別私立学校学校数・生徒数（全日制・定時制）

（単位：校、人）

区分	高等学校		中学校		専修学校		各種学校	
	学校数	生徒数	学校数	生徒数	学校数	生徒数	学校数	生徒数
昭和54	22	21,032(28)	7	808	35	5,501	66	6,473
55	22	21,314(56)	7	843	38	5,602	61	5,758
56	22	21,154(66)	7	921	42	5,593	55	5,191
57	22	20,303(80)	7	990	44	5,571	55	3,863
58	22	20,510(83)	7	1,044	43	5,819	54	5,094
59	22	20,646(80)	7	1,076	43	5,790	53	4,871
60	22	21,672(89)	7	1,075	43	5,501	52	4,744
61	22	21,384(95)	7	1,072	46	6,141	51	3,521
62	22	21,995(92)	6	1,053	48	6,508	43	3,460
63	22	22,802(85)	6	1,049	48	6,852	42	3,446
平成元	22	23,911(78)	6	1,082	48	7,052	40	2,956
2	22	24,329(80)	6	1,116	49	7,391	37	2,890
3	22	23,911(86)	6	1,200	49	7,760	31	2,683
4	22	23,274(87)	6	1,175	50	8,374	22	1,681
5	22	22,336(95)	6	1,189	50	8,844	20	2,336
6	22	21,913(99)	6	1,159	51	9,335	19	2,713
7	22	21,805(98)	6	1,220	51	9,544	18	2,542
8	22	21,718(101)	7	1,309	49	9,594	18	2,786
9	22	21,226(137)	7	1,353	49	9,435	13	3,789
10	22	20,525(215)	7	1,296	50	9,378	12	4,847
11	22	20,185(259)	7	1,178	49	9,345	12	1,575
12	22	19,952(271)	7	1,103	50	9,390	12	1,542
13	22	19,841(255)	7	1,128	50	9,147	12	1,519
14	22	19,418(244)	7	1,129	48	9,071	12	1,565
15	22	18,743(260)	7	1,186	45	9,123	10	1,477
16	22	18,406(264)	7	1,174	47	9,675	10	1,276
17	22	17,410(311)	7	1,212	49	9,606	10	1,164
18	22	16,457(359)	7	1,219	51	9,078	10	1,196
19	22	15,717(406)	7	1,292	52	8,698	9	1,187
20	22	15,593(396)	7	1,350	52	8,297	8	1,178
21	22	15,602(364)	7	1,343	50	8,375	8	1,145
22	22	15,701(352)	7	1,337	48	8,680	8	1,126
23	21	15,921(337)	9	1,437	48	8,690	8	1,045
24	21	16,265(354)	9	1,549	48	8,632	7	932
25	21	16,374(398)	9	1,598	48	8,675	7	1,054
26	21	16,813(462)	9	1,513	48	8,419	6	1,099
27	21	16,973(478)	9	1,480	48	8,041	6	977
28	21	17,140(525)	9	1,380	50	8,089	6	1,080
29	21	16,848(553)	9	1,395	50	7,995	6	1,384
30	21	16,727(510)	9	1,372	50	7,726	6	1,187
令和元	21	16,278(492)	9	1,451	49	7,535	6	1,079
2	21	16,225(480)	8	1,468	47	7,460	6	1,121
3	21	16,098(499)	8	1,454	48	7,434	6	1,377
4	21	16,166(467)	8	1,412	48	7,481	6	1,431
5	21	15,909(446)	8	1,339	48	7,424	7	1,574

注1：（ ）内は、専攻科外数。

（各年度5月1日現在）

注2：専修学校学校数には分校を含む。

出典：「学校基本調査」（文部科学省）

(2) 国、公、私立別学校数・学生等数（全日制・定時制）

学校別	区分	私立		公立		国立		計		学生等数に 占める私立 の割合(%)
		学校等数	学生数等	学校等数	学生等数	学校等数	学生等数	学校等数	学生等数	
			(人)		(人)		(人)		(人)	
大学		7	14,942	1	2,211	1	9,874	9	27,027	55.3
短大		2	609	-	-	-	-	2	609	100.0
高等学校		21	15,909	52	26,918	-	-	73	42,827	37.1
		(4)	(446)	(1)	(13)	-	-	(5)	(459)	97.2
義務教育学校		-	-	3	289	-	-	3	289	0.0
中学校		8	1,339	161	47,064	1	474	170	48,877	2.7
小学校		-	-	329	93,617	1	641	330	94,258	0.0
特別支援学校		-	-	23	2,276	1	59	24	2,335	0.0
幼稚園		73	6,155	23	787	1	115	97	7,057	87.2
専修学校		48	7,424	4	456	-	-	52	7,880	94.2
各種学校		7	1,574	-	-	-	-	7	1,574	100.0
計		166	48,398	596	173,631	5	11,163	767	233,192	20.8

(令和5年(2023年)5月1日現在)

注：()は、専攻科外数。計については、専攻科を内数として含む。

出典：「学校基本調査」(文部科学省・県統計調査課)

「学校一覧」(県教育委員会)

2 私立高等学校

(1) 年度別全国比較学校数、教職員数

(単位：校、人)

区分	学 校 数								教員数(本務者)(人)				職員数 (本務者) (人)	
	計				左のうち分校(再掲)				計	左のうち 女子	全日制	定時制		
	計	全日制	定時制	併置	計	全日制	定時制	併置						
熊本県	令和元	21	21	-	0	0	-	-	-	1,076	356	1,076	-	255
	2	21	21	-	0	0	-	-	-	1,069	349	1,069	-	263
	3	21	21	-	0	0	-	-	-	1,066	356	1,066	-	278
	4	21	21	-	0	0	-	-	-	1,073	351	1,073	-	275
	5	21	21	-	0	0	-	-	-	1,077	350	1,077	-	253
全国	令和元	1,322	1,295	4	23	2	2	-	-	62,305	18,301	62,130	175	12,589
	2	1,322	1,295	4	23	2	2	-	-	62,438	18,410	62,266	172	12,687
	3	1,320	1,294	4	22	2	2	-	-	62,640	18,695	62,470	170	12,606
	4	1,320	1,294	4	22	2	2	-	-	62,546	18,774	62,378	168	12,589
	5	1,321	1,295	4	22	2	2	-	-	62,377	18,921	62,211	166	12,473

(各年度5月1日現在)

出典：「学校基本調査」(文部科学省・県統計調査課)、「生徒数調査関係資料」(私学振興課)

(2) 年度別全国比較生徒数

(単位：人)

区分	合計	本 科												専 攻 科	別 科		
		計	全 日 制						定 時 制								
			小計	左のうち 男子	1 学 年	2 学 年	3 学 年	小計	左のうち 男子	1 学 年	2 学 年	3 学 年	4 学 年				
熊本県	令和元	16,770	16,278	16,278	7,612	5,575	5,437	5,266	-	-	-	-	-	-	-	492	-
	2	16,705	16,225	16,225	7,611	5,574	5,376	5,275	-	-	-	-	-	-	-	480	-
	3	16,597	16,098	16,098	7,483	5,495	5,363	5,240	-	-	-	-	-	-	-	499	-
	4	16,633	16,166	16,166	7,607	5,745	5,276	5,145	-	-	-	-	-	-	-	467	-
	5	16,355	15,909	15,909	7,446	5,428	5,411	5,070	-	-	-	-	-	-	-	446	-
全国	令和元	1,027,815	1,021,673	1,019,028	522,210	344,054	339,189	335,785	2,645	1,459	864	800	831	150	6,142	0	
	2	1,017,632	1,011,664	1,009,125	493,759	344,069	333,652	331,404	2,539	1,134	816	836	765	122	5,968	0	
	3	1,010,631	1,004,675	1,002,192	510,520	340,871	334,504	326,817	2,483	1,392	747	789	822	125	5,956	0	
	4	1,015,160	1,009,445	1,007,099	512,605	351,087	330,030	325,982	2,346	1,346	736	715	771	124	5,715	0	
	5	1,013,176	1,007,508	1,005,271	513,200	347,242	337,743	320,286	2,237	1,285	711	709	707	110	5,668	0	

(各年度5月1日現在)

出典：「学校基本調査」(文部科学省)

(3) 都道府県別学校数・生徒数

順位	私立高等学校数 (全・定)		順位	生徒数(人)			順位	全日制本科生徒数 私立割合		
	都道府県	校数		都道府県	合計生徒数	本科生徒数		専攻科生徒数	都道府県	(%)
1	東京	237	1	東京	171,632	171,559	73	1	東京	59.4%
2	大阪	96	2	大阪	91,504	91,296	208	2	京都	48.6%
3	神奈川	79	3	神奈川	69,698	69,698	0	3	大阪	46.5%
4	福岡	59	4	愛知	60,866	60,772	94	4	福岡	43.7%
5	愛知	55	5	埼玉	53,786	53,786	0	5	静岡	38.0%
6	千葉	54	6	福岡	53,050	52,172	878	6	熊本	37.5%
7	兵庫	52	7	千葉	48,270	48,270	0	7	神奈川	37.3%
8	北海道	50	8	静岡	32,814	32,814	0	8	山形	36.7%
9	埼玉	48	9	兵庫	31,903	31,903	0	9	広島	36.3%
10	静岡	43	10	京都	31,217	31,092	125	10	千葉	36.0%
11	京都	40	11	北海道	29,638	29,638	0	11	鹿児島	35.5%
12	広島	35	12	広島	23,706	23,651	55	12	愛知	34.5%
13	茨城	24	13	茨城	20,146	20,066	80	13	埼玉	34.4%
14	岡山	23	14	宮城	16,519	16,519	0	14	長崎	34.2%
15	長崎	22	15	熊本	16,355	15,909	446	15	岡山	33.3%
16	熊本	21	16	岡山	15,581	15,444	137	16	宮崎	33.0%
16	鹿児島	21	17	鹿児島	15,477	14,456	1,021	17	宮城	31.6%
18	山口	20	18	栃木	14,122	14,122	0	18	高知	31.3%
19	宮城	19	19	新潟	12,504	12,431	73	18	山口	31.3%
20	福島	18	20	群馬	11,977	11,977	0	20	石川	30.8%
21	青森	17	21	長崎	11,402	11,122	280	21	大分	30.7%
21	長野	17	22	岐阜	10,827	10,827	0	22	奈良	30.5%
23	新潟	16	23	福島	10,226	10,082	144	23	栃木	30.4%
23	岐阜	16	24	長野	10,181	10,181	0	24	山梨	30.3%
25	栃木	15	25	三重	10,157	10,154	3	25	福井	30.1%
25	奈良	15	26	宮崎	9,604	9,206	398	26	茨城	29.8%
25	宮崎	15	27	山形	9,417	9,377	40	27	北海道	28.1%
27	山形	14	28	奈良	9,299	9,168	131	28	青森	28.0%
27	大分	14	29	山口	9,177	9,030	147	29	鳥取	27.6%
30	岩手	13	30	大分	8,883	8,477	406	30	群馬	26.8%
30	群馬	13	31	石川	8,692	8,692	0	30	兵庫	26.8%
30	三重	13	32	愛媛	8,074	7,915	159	32	愛媛	26.4%
33	山梨	11	33	滋賀	7,909	7,909	0	33	佐賀	26.3%
33	愛媛	11	34	青森	7,751	7,617	134	34	新潟	26.1%
35	富山	10	35	岩手	6,530	6,379	151	35	香川	25.9%
35	石川	10	36	山梨	6,350	6,350	0	36	三重	24.8%
35	滋賀	10	37	香川	6,070	5,988	82	37	福島	24.1%
35	島根	10	38	福井	5,917	5,850	67	38	富山	23.1%
35	香川	10	39	佐賀	5,865	5,716	149	39	岐阜	22.9%
40	和歌山	9	40	富山	5,441	5,441	0	40	岩手	22.8%
40	高知	9	41	高知	5,006	4,868	138	41	滋賀	22.6%
40	佐賀	9	42	和歌山	4,304	4,304	0	42	島根	21.9%
43	鳥取	8	43	鳥取	3,765	3,716	49	43	長野	20.8%
44	福井	7	44	島根	3,603	3,603	0	44	和歌山	19.9%
45	秋田	5	45	沖縄	2,897	2,897	0	45	秋田	10.8%
45	沖縄	5	46	秋田	2,127	2,127	0	46	沖縄	7.0%
47	徳島	3	47	徳島	700	700	0	47	徳島	4.6%

(令和5年(2023年)5月1日現在)
出典:「学校基本調査」(文部科学省)

(4) 生徒数推移（全日制本科及び専攻科生徒数）

年 度	私 立	国公立	計	私立の割合 (%)
昭和43年度	28,281	56,699	84,980	33.3%
44	28,190	54,258	82,448	34.2%
45	27,530	52,917	80,447	34.2%
46	27,577	52,868	80,445	34.3%
47	27,278	51,946	79,224	34.4%
48	26,423	52,519	78,942	33.5%
49	25,916	53,766	79,682	32.5%
50	24,809	54,960	79,769	31.1%
51	23,873	55,722	79,595	30.0%
52	22,489	55,722	78,211	28.8%
53	21,378	55,141	76,519	27.9%
54	21,060	54,526	75,586	27.9%
55	21,370	53,994	75,364	28.4%
56	21,220	52,990	74,210	28.6%
57	20,383	51,697	72,080	28.3%
58	20,593	51,292	71,885	28.6%
59	20,726	51,191	71,917	28.8%
60	21,761	51,711	73,472	29.6%
61	21,479	51,167	72,646	29.6%
62	22,087	51,245	73,332	30.1%
63	22,887	51,858	74,745	30.6%
平成元年度	23,989	52,970	76,959	31.2%
2	24,409	53,421	77,830	31.4%
3	23,997	53,264	77,261	31.1%
4	23,361	52,339	75,700	30.9%
5	22,431	51,757	74,188	30.2%
6	22,012	50,854	72,866	30.2%
7	21,903	50,069	71,972	30.4%
8	21,819	48,576	70,395	31.0%
9	21,363	47,822	69,185	30.9%
10	20,740	48,797	69,537	29.8%
11	20,444	47,249	67,693	30.2%
12	20,233	47,094	67,327	30.1%
13	20,096	46,437	66,533	30.2%
14	19,662	44,803	64,465	30.5%
15	19,003	43,412	62,415	30.4%
16	18,670	41,915	60,585	30.8%
17	17,721	40,665	58,386	30.4%
18	16,816	39,239	56,055	30.0%
19	16,123	38,144	54,267	29.7%
20	15,989	36,771	52,760	30.3%
21	15,966	36,169	52,135	30.6%
22	16,053	36,771	52,824	30.4%
23	16,258	36,169	52,427	31.0%
24	16,619	33,905	50,524	32.9%
25	16,772	32,792	49,564	33.8%
26	17,275	32,412	49,687	34.8%
27	17,451	31,586	49,037	35.6%
28	17,665	31,146	48,811	36.2%
29	17,401	30,795	48,196	36.1%
30	17,237	30,353	47,590	36.2%
令和元年度	16,770	29,239	46,009	36.4%
2	16,705	28,314	45,019	37.1%
3	16,597	27,315	43,912	37.8%
4	16,633	26,624	43,257	38.5%
5	16,355	26,561	42,916	38.1%

(各年度5月1日現在)

出典：「学校基本調査」（文部科学省）

(5) 年度別本務教職員数(全日制・定時制)

(単位:人)

区分 年度	教 員 数												職 員 数			
	校長		副校長・教頭		教諭		助教諭		養護教諭・養護助教諭		講師		計		計	
		うち 女子		うち 女子		うち 女子		うち 女子		うち 女子		うち 女子		うち 女子		うち 女子
平成8	20	3	29	2	876	209	16	13	20	20	93	25	1,054	272	270	142
9	20	3	28	2	871	212	19	15	19	19	126	44	1,083	295	256	135
10	21	3	27	3	853	204	19	16	19	19	151	43	1,090	288	265	138
11	21	3	31	2	850	209	17	12	20	20	139	40	1,078	286	262	136
12	21	3	30	2	838	201	17	13	21	21	155	52	1,082	292	265	137
13	20	3	27	3	843	207	13	9	21	21	166	54	1,090	297	273	133
14	20	3	28	5	834	214	11	9	20	20	159	56	1,072	307	273	133
15	20	5	30	3	814	213	15	11	21	21	160	50	1,060	303	261	127
16	20	4	33	2	772	201	14	13	21	21	199	64	1,059	305	266	141
17	20	4	31	1	765	209	10	10	19	19	194	62	1,039	305	266	136
18	19	4	32	1	742	213	3	3	22	21	222	79	1,040	321	248	130
19	19	3	31	1	706	198	6	6	22	22	234	87	1,018	317	236	120
20	19	3	28	1	696	193	5	5	22	22	247	84	1,017	308	220	111
21	20	3	32	2	690	192	3	3	22	22	246	81	1,013	303	204	107
22	20	2	33	3	692	192	7	7	22	22	242	79	1,016	305	211	111
23	18	2	34	4	684	181	9	9	23	23	245	88	1,013	307	207	109
24	18	1	36	4	684	194	9	9	23	23	244	85	1,014	316	226	108
25	19	1	35	5	696	201	5	5	23	23	243	91	1,021	328	225	110
26	20	1	37	4	722	216	5	5	21	21	263	102	1,068	349	229	105
27	19	1	32	2	707	205	6	6	21	21	271	100	1,056	335	229	114
28	19	1	33	3	687	201	7	7	23	23	280	111	1,049	346	246	111
29	19	2	31	3	682	199	8	8	24	24	296	118	1,060	354	244	117
30	19	3	32	3	704	214	8	7	22	22	283	106	1,068	355	255	122
令和元	19	3	32	3	718	211	13	9	22	22	272	105	1,076	356	255	124
2	19	3	36	4	712	210	14	11	22	22	266	99	1,069	349	263	130
3	19	3	38	4	717	218	9	6	26	26	257	99	1,066	356	278	138
4	19	3	37	4	731	223	7	4	24	24	255	93	1,073	351	275	139
5	20	2	39	6	735	220	6	6	23	23	254	93	1,077	350	253	140

(令和5年(2023年)5月1日現在)

出典:「学校基本調査」(文部科学省)

(6) 年度別開設状況

開設年	開設数	学校名
明治	20年代	フェイス、尚綱、鎮西
	30年代	信愛、中央、開新
	40年代	九学、白百合
大正	10年代	慶誠、ルーテル、玉名女子
昭和	16年	国府
	31年	秀岳館
	34年	学園大付
	36年	マリスト、文徳、東海星翔、有明
	38年	真和
	39年	菊池女子
	41年	専大熊本
平成	22年	1、閉校1 勇志国際 フェイス閉校
	29年	1 くまもと清陵
計	23	

注：昭和22年に現在の学校教育制度が施行された。

出典：「私立学校許認可関係資料」（私学振興課）

(7) 各校の沿革

熊本フェイス学院高等学校	50 尚綱短期大学と改称
明治 20 熊本女学会創立	尚綱短期大学附属尚綱幼稚園と改称
21 熊本英学校附属女学校設置	尚綱大学設置
22 私立熊本女学校として分離	平成 7 尚綱中学校募集再開
大正 10 大江高等女学校と改称	
昭和 23 学制改革により大江女子高等学校発足	熊本信愛女学院高等学校
28 大江高等学校と改称	明治 33 熊本玫瑰女学校創立
45 定時制課程併設	大正 9 熊本中央実科高等女学校設置
63 熊本フェイス女学院高等学校と改称	11 上林高等女学校と改称
平成 17 定時制課程廃止・通信制課程開設	昭和 7 上林女子商業学校設置
熊本フェイス学院高等学校と改称	22 学制改革により
21 学校法人開新学園と合併	熊本信愛女学院中学校発足
(法人名：学校法人開新学園)	23 学制改革により
22 閉校	熊本信愛女学院高等学校発足
	25 熊本信愛女学院幼稚園設置
尚綱高等学校	
明治 21 済々黌附属女学校創立	熊本中央高等学校
24 尚綱女学校と改称	明治 36 坪井女子工芸学校創立
29 私立尚綱高等女学校と改称	大正 5 九州実科女学校と改称
昭和 22 学制改革により尚綱中学校発足	7 九州実科高等学校と改称
23 学制改革により尚綱高等学校発足	10 九州中央高等女学校と改称
27 熊本女子短期大学設置	昭和 8 熊本県中央高等女学校と改称
44 熊本女子短期大学附属尚綱幼稚園設置	23 学制改革により
46 尚綱中学校募集停止	熊本県中央女子高等学校発足

平成 9 坪井幼稚園設置
 34 熊本中央女子高等学校と改称
 平成 9 専攻科設置
 14 熊本中央高等学校と改称
 看護学科男女共学化
 16 普通科男女共学化
 26 総合ビジネス科男女共学化

開新高等学校
 明治 37 東亜鉄道学院創立
 40 東亜鉄道学校と改称
 昭和 13 甲種実業学校認可
 21 熊本鉄道学校と改称
 23 学制改革により熊本鉄道高等学校発足
 37 熊本第一工業高等学校と改称
 58 熊本工業専門学校設置
 平成 7 開新高等学校と改称
 16 男女共学化
 21 学校法人順心学園と合併
 (法人名：学校法人開新学園)

鎮西高等学校
 明治 21 浄土宗学鎮西支校創立
 38 中学校令により鎮西中学校と変更
 昭和 22 学制改革により鎮西中学校発足
 23 学制改革により鎮西高等学校発足
 32 鎮西中学校廃止
 平成 23 鎮西中学校開校
 30 鎮西中学校募集停止
 令和 2 鎮西中学校廃止

真和高等学校
 昭和 35 鎮西学園内に真和中学校設置
 38 真和高等学校開校

九州学院高等学校
 明治 42 ルーテル神学校創立
 44 九州学院設置
 昭和 18 九州中学校設置
 21 九州中学校と改称
 23 学制改革により九州学院高等学校発足
 29 九州学院みどり幼稚園設置

平成 3 中学高校ともに男女共学化

慶誠高等学校
 大正 11 熊本女子職業学校創立
 昭和 11 熊本高等家政女学校と改称
 22 学制改革により松苑女子中学校発足
 23 学制改革により熊本家政高等学校発足
 25 熊本家政女学園高等学校・中学校と改称
 34 熊本家政女学園中学校廃止
 39 熊本女子高等学校と改称
 平成 9 慶誠高等学校と改称
 21 普通科特進コース・ふくし科男女共学化
 22 普通科進学コース・食物科男女共学化

ルーテル学院高等学校
 大正 15 九州女学院創立
 昭和 18 清水高等女学校と改称
 21 九州女学院高等女学校と改称
 22 学制改革により九州女学院中学校発足
 23 学制改革により九州女学院高等学校発足
 九州女学院幼稚園設置
 50 九州女学院短期大学設置
 平成 9 九州ルーテル学院大学設置
 (九州女学院短期大学全学科募集停止)
 13 ルーテル学院高等学校と改称
 (中学も同様に改称)
 中学高校ともに男女共学化

熊本国府高等学校
 昭和 16 熊本商工会議所立熊本女子商業学校創立
 22 学制改革により熊本女子中学校発足
 23 学制改革により
 熊本女子商業高等学校発足
 42 熊本女子中学校廃止
 平成 6 熊本国府高等学校と改称
 7 男女共学化

熊本学園大学付属高等学校
 昭和 17 東洋語学専門学校創立
 25 熊本短期大学設置
 29 熊本商科大学設置
 31 敬愛幼稚園設置

- 34 熊本商科大学附属高等学校開校
 平成 6 熊本学園大学、同大学短期大学部及び
 同大学附属高等学校と改称
 14 熊本学園大学短期大学部廃止
 23 熊本学園大学附属中学校開校

熊本マリスト学園高等学校

- 昭和 36 熊本マリスト学園高等学校創立
 38 熊本マリスト学園中学校設置
 平成 12 中学高校ともに男女共学化

東海大学附属熊本星翔高等学校

- 昭和 36 東海大学第二高等学校開校
 39 東海大学短期大学部設置
 48 九州東海大学設置
 (東海大学短期大学部発展的解消)
 平成 14 かもめ幼稚園の設置者を学校法人
 東海大学に変更
 16 東海大学附属第二高等学校と改称
 24 東海大学附属熊本星翔高等学校と改称

文徳高等学校

- 昭和 24 電波塾創立
 27 君が淵電波専門学校設置
 36 君が淵電波工業高等学校開校
 40 君が淵工業高等学校と改称
 熊本工業短期大学設置
 42 熊本工業大学設置
 熊本工業大学高等学校と改称
 44 熊本工業短期大学発展的解消(大学吸収)
 54 熊本工大高等学校と改称
 平成 8 文徳高等学校と改称
 文徳中学校設置

八代白百合学園高等学校

- 明治 42 私立八代女子技芸学校創立
 大正 3 八代技芸女学校と改称
 10 八代実科高等女学校設置
 15 八代成美高等女学校と改称
 昭和 2 八代技芸女学校廃止
 6 八代成美家政女学校設置
 20 八代成美家政女学校廃止

- 22 八代成美高等女学校廃止
 22 学制改革により
 八代白百合学園中学校発足
 23 学制改革により
 八代白百合学園高等学校発足
 30 八代白百合学園幼稚園設置
 61 八代白百合学園中学校廃止

秀岳館高等学校

- 大正 12 八代町立代陽実業補習学校開校
 昭和 26 八代商業専修学校創立
 27 八代商業学校と改称
 29 附属八商幼稚園設置
 31 私立八代商業高等学校開校
 32 附属八商幼稚園廃止
 38 八代第一高等学校と改称
 49 中九州短期大学設置
 平成 13 秀岳館高等学校と改称

有明高等学校

- 昭和 36 有明商業高等学校創立
 46 有明高等学校と改称
 54 専攻科設置

玉名女子高等学校

- 大正 14 玉名実践女学院創立
 昭和 2 玉名実践女学校と改称
 4 玉名女子職業学校と改称
 17 熊本県玉名高等家政女学校と改称
 22 玉名女子中学校設置
 23 学制改革により玉名家政高等学校発足
 32 玉名女子中学校廃止
 38 玉名女子高等学校と改称
 平成 10 専攻科設置

菊池女子高等学校

- 大正 14 隈府女子技芸学校創立
 昭和 27 隈府女子専門学校と改称
 39 菊池女子高等学校開校

専修大学熊本玉名高等学校

- 昭和 24 玉名英学院創立

- 26 玉名短期商業学校と改称
- 28 玉名高等商業学校と改称
- 昭和 41 玉名商業高等学校開校
- 専修大学附属玉名商業高等学校と改称
- 43 専修大学玉名高等学校と改称
- 令和 5 専修大学熊本玉名高等学校と改称

城北高等学校

- 昭和 36 城北高等実業学校創立
- 43 城北高等学校開校
- 平成 23 専攻科設置

勇志国際高等学校

- 平成 17 株式会社立として勇志国際高等学校設立
- 22 学校法人化

くまもと清陵高等学校

- 平成 17 株式会社立としてくまもと清陵高等学校設立
- 29 学校法人化

3 私立中学校

(1) 年度別全国比較学校数・学級数・生徒数・教職員数

区分	学校数			学級数				生徒数(人)					本務教員数(人)			本務職員数(人)		
	計	本校	分校	計	単式学級	複式学級	特別支援学級	計	男子	女子	1年生	2年生	3年生	計	男子		女子	
熊本県	令和元	9	9	-	49	49	-	-	1,451	638	813	507	474	470	93	49	44	13
	2	8	8	-	50	50	-	-	1,468	620	848	515	496	457	93	48	45	15
	3	8	8	-	51	51	-	-	1,454	597	857	470	502	482	98	53	45	19
	4	8	8	-	50	50	-	-	1,412	579	833	475	457	480	100	57	43	15
	5	8	8	-	48	48	-	-	1,339	572	767	435	459	445	102	61	41	19
全国	令和元	781	781	-	7,388	7,374	5	9	239,106	115,261	123,845	82,000	79,071	78,035	15,352	9,461	5,891	2,290
	2	782	782	-	7,462	7,448	5	9	242,095	116,701	125,394	82,764	81,250	78,081	15,527	9,547	5,980	2,282
	3	778	778	-	7,394	7,383	2	9	245,245	118,247	126,998	82,616	82,226	80,403	15,701	9,588	6,113	2,287
	4	780	780	-	7,450	7,438	3	9	246,342	118,924	127,418	83,374	81,836	81,132	15,723	9,601	6,122	2,256
	5	781	781	-	7,526	7,513	4	9	247,622	119,588	128,034	84,654	82,356	80,612	15,966	9,709	6,257	2,255

(各年度5月1日現在)

出典：「学校基本調査」(文部科学省・県統計調査課)
「生徒数調査関係資料」(私学振興課)

4 私立専修学校

(1) 年度別全国比較学校数・生徒数

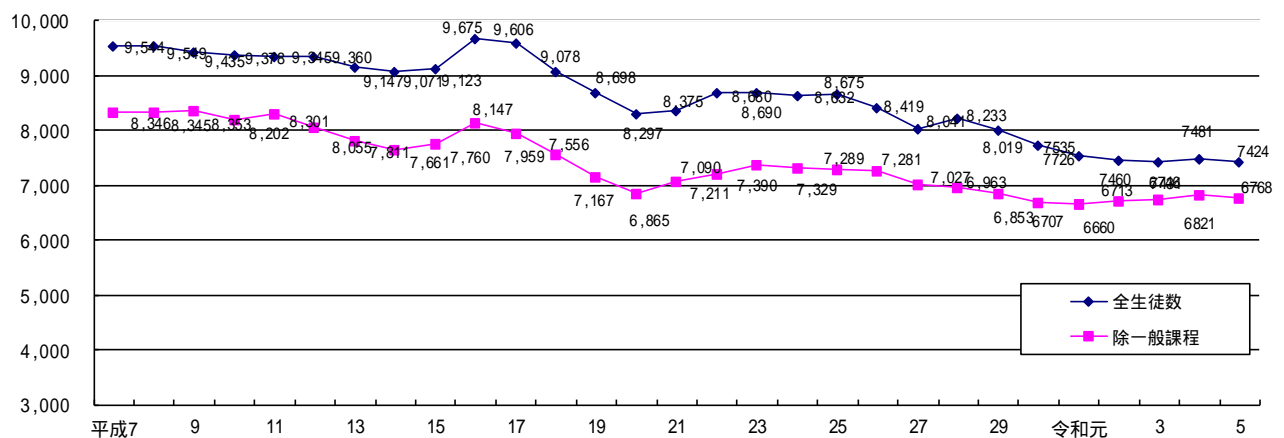
(単位：校、人)

区分	学校数	生徒数			
		計	男子	女子	
熊本県	令和元年度	49	7,535	3,244	4,291
	2	47	7,460	3,211	4,249
	3	48	7,434	3,196	4,238
	4	48	7,481	3,213	4,268
	5	48	7,424	3,203	4,221
全国	令和元年度	2,941	635,015	287,750	347,265
	2	2,919	637,135	288,098	349,037
	3	2,889	638,882	286,871	352,011
	4	2,860	612,846	272,189	340,657
	5	2,831	585,864	257,615	328,249

(各年度5月1日現在)

出典：「学校基本調査」(文部科学省)

(2) 県内私立専修学校生徒数の推移



注：「除一般課程」は大学予備校等の一般課程を除いた生徒数
通信制は除く

(各年度5月1日現在)

出典：「学校基本調査」(文部科学省)

(3) 認可年別内訳

(単位：校)

年		学校数	年		学校数
昭和	51	11	平成	元	1
	52	10		2	1
	54	1		4	1
	55	2		5	3
	56	3		10	1
	58	1		11	1
	60	2		15	1
	61	2		16	1
				17	1(1)
				18	2
				19	1
				20	1
				24	1
				28	4
			令和	3	1

注：() は分校数

(各年度5月1日現在)

出典：「私立学校許認可関係資料」(私学振興課)

(4) 年度別本務教職員数推移

(単位：人)

区分 \ 年度	年度											
	平成25	26	27	28	29	30	令和元	2	3	4	5	
本務教員数	540	540	567	547	554	555	539	520	522	512	517	
本務職員数	217	217	201	228	211	200	199	204	222	215	224	

(各年度5月1日現在)

出典：「学校基本調査」(文部科学省)

5 私立各種学校

(1)年度別全国比較学校数・生徒数

(単位：校、人)

区分		学校数	生徒数(人)		
			計	男子	女子
熊本県	令和元年度	6	1,079	591	488
	2	6	1,121	644	477
	3	6	1,377	820	557
	4	6	1,431	848	583
	5	7	1,574	902	672
全国	令和元年度	1,113	116,425	62,521	53,904
	2	1,096	104,704	56,136	48,568
	3	1,064	102,090	54,693	47,397
	4	1,041	101,664	54,714	46,950
	5	1,010	107,797	57,535	50,262

(各年度5月1日現在)

出典：「学校基本調査」(文部科学省)

(2)認可年別内訳

(単位：校)

年		学校数	年		学校数
昭和	23	1	昭和	37	1
	28	1		43	1
	30	1	令和	5	1
	31	1			

出典：「私立学校許認可関係資料」(私学振興課)

(3)年度別本務教職員数推移

(単位：人)

区分	年度										
	平成25	26	27	28	29	30	令和元	2	3	4	5
本務教員数	63	64	61	63	60	62	61	60	60	69	87
本務職員数	16	15	16	21	27	27	41	42	43	46	60

(各年度5月1日現在)

出典：「学校基本調査」(文部科学省)

第2 納付金等

1 私立高等学校都道府県別納付金平均額

区分 都道府県	高等学校(全日制)			
	授業料	入学料	施設設備費	計
1 北海道	406,896	195,600	47,468	649,964
2 青森	419,765	58,627	70,351	548,743
3 岩手	388,800	96,154	69,162	554,115
4 宮城	406,316	59,237	278,015	743,568
5 秋田	348,000	154,000	179,363	681,363
6 山形	445,757	124,286	75,521	645,564
7 福島	385,082	142,500	38,784	566,367
8 茨城	384,875	183,958	250,858	819,692
9 栃木	390,429	147,143	186,233	723,805
10 群馬	413,862	128,077	156,693	698,632
11 埼玉	387,367	223,885	208,244	819,496
12 千葉	368,844	148,380	223,739	740,963
13 東京	473,002	253,733	216,640	943,375
14 神奈川	464,665	210,961	273,000	948,627
15 新潟	362,884	153,125	80,566	596,575
16 富山	396,000	119,500	38,627	554,127
17 石川	368,000	73,333	122,032	563,366
18 福井	347,472	5,520	136,870	489,862
19 山梨	405,600	129,545	182,206	717,352
20 長野	588,765	134,706	117,882	841,353
21 岐阜	419,500	136,250	115,525	671,275
22 静岡	437,121	92,728	101,174	631,023
23 愛知	425,659	203,503	34,487	663,649
24 三重	392,308	53,269	193,054	638,631
25 滋賀	431,000	152,000	216,367	799,367
26 京都	556,838	96,026	191,442	844,306
27 大阪	594,431	192,547	34,919	821,897
28 兵庫	440,518	234,044	209,141	883,703
29 奈良	550,857	146,429	84,857	782,143
30 和歌山	456,911	157,778	78,444	693,133
31 鳥取	396,000	75,875	66,863	538,738
32 島根	422,400	89,000	15,000	526,400
33 岡山	395,417	89,348	357,568	842,333
34 広島	427,851	198,286	65,043	691,180
35 山口	411,704	94,550	42,229	548,483
36 徳島	432,000	200,000	159,333	791,333
37 香川	402,528	123,667	83,250	609,445
38 愛媛	371,127	45,909	120,300	537,336
39 高知	421,500	145,000	52,938	619,438
40 福岡	395,612	39,449	186,755	621,816
41 佐賀	414,600	103,874	137,145	665,619
42 長崎	405,781	95,810	66,741	568,333
43 熊本	389,543	68,810	127,362	585,714
44 大分	394,714	121,071	32,776	548,562
45 宮崎	407,657	115,714	79,343	602,714
46 鹿児島	543,222	97,778	44,475	685,475
47 沖縄	327,750	110,000	134,117	571,867
全国平均	445,174	164,196	149,510	758,881

出典：「令和4年度(2022年度) 授業料等調査」(文部科学省)

2 年度別推移高等学校納付金（全日制・本科）

（単位：円、％）

区分		年度	平成26	27	28	29	30	令和元	2	3	4	5
私立	毎月	授業料	23,211	23,552	23,783	23,910	24,100	24,219	30,707	31,993	32,462	33,224
		A	(2.3)	(1.5)	(1.0)	(0.5)	(0.8)	(0.5)	(26.8)	(4.2)	(1.5)	(2.3)
		その他	12,877	12,981	13,075	13,203	13,338	13,443	7,697	7,288	7,738	7,699
		合計	36,088	36,533	36,858	37,113	37,438	37,662	38,404	39,281	40,200	40,923
	入学時	入学金	70,476	70,476	70,476	70,476	70,476	68,095	68,810	68,810	68,810	68,810
			(0.3)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(-3.4)	(1.1)	(0.0)	(0.0)	(0.0)
その他		33,334	33,334	33,334	33,334	33,334	34,524	34,524	34,524	34,524	34,524	
	合計	103,810	103,810	103,810	103,810	103,810	102,619	103,334	103,334	103,334	103,334	
公立	毎月	授業料	9,900	9,900	9,900	9,900	9,900	9,900	9,900	9,900	9,900	9,900
	B	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)
	入学時	入学金	5,650	5,650	5,650	5,650	5,650	5,650	5,650	5,650	5,650	5,650
A / B			2.34	2.38	2.40	2.42	2.43	2.45	3.10	3.23	3.28	3.36

-注：（ ）内は対前年度比伸び率

出典：「授業料等調査」（私学振興課）

3 保護者が支出した教育費全国平均額（高等学校公私比較）

(1) 生徒1人当たり支出額（年間）（単位：円）

区 分	高等学校（全日制）	
	私 立	公 立
学 習 費 総 額	1,054,444	512,971
学校教育費	750,362	309,261
学校給食費	-	-
学校外活動費	304,082	203,710

出典：「令和3年度（2021年度）子供の学習費調査」

（文部科学省）

(2) 学校教育費内訳（単位：円）

区 分	高等学校（全日制）	
	私 立	公 立
入学金	43,570	7,211
施設整備費等（入学時納付）	22,771	3,928
入学検定料	5,503	5,004
授業料	288,443	52,120
施設整備費等	60,323	...
修学旅行費	16,613	15,647
校外学習費	9,936	3,909
学級・児童会・生徒会費	13,061	8,821
その他の学校納付金	20,301	12,558
P T A 会費	9,325	5,931
後援会費	8,393	4,866
寄附金	4,405	629
計	502,644	120,624
教科書費・教科書以外の図書費	38,461	31,249
学用品・実験実習材料費	25,798	21,854
教科外活動費	47,013	39,395
通学費	81,093	52,283
制服	36,086	26,110
通学用品費	11,976	12,776
その他	7,291	4,970
計	247,718	188,637
合 計	750,362	309,261

出典：「令和3年度(2021年度) 子供の学習費調査」

（文部科学省）

(3) 学校教育費（高等学校公私別・学年別内訳）

（単位：円）

区 分	私 立 高 等 学 校			
	平均	第1学年	第2学年	第3学年
入学金	43,570	128,099
施設整備費等（入学時納付）	22,771	66,948
入学検定料	5,503	16,179
授業料	288,443	286,024	288,166	291,250
施設整備費等	60,323	57,727	62,474	60,829
修学旅行費	16,613	1,288	47,370	1,116
校外学習費	9,936	14,258	9,490	5,883
学級・児童会・生徒会費	13,061	14,668	12,898	11,551
その他の学校納付金	20,301	22,300	19,672	18,859
P T A 会費	9,325	10,574	8,712	8,650
後援会費	8,393	9,803	7,597	7,737
寄附金	4,405	6,329	3,127	3,705
計	502,644	634,197	459,506	409,580
教科書費・教科書以外の図書費	38,461	56,487	34,314	23,904
学用品・実験実習材料費	25,798	48,394	15,335	12,939
教科外活動費	47,013	73,245	44,098	22,637
通学費	81,093	90,931	83,987	67,871
制服	36,086	88,638	10,721	7,237
通学用品費	11,976	21,531	8,116	5,961
その他	7,291	8,765	2,820	10,331
計	247,718	387,991	199,391	150,880
合 計	750,362	1,022,188	658,897	560,460

区 分	公 立 高 等 学 校			
	平均	第1学年	第2学年	第3学年
入学金	7,211	22,171
施設整備費等（入学時納付）	3,928	12,077
入学検定料	5,004	15,384
授業料	52,120	53,377	50,328	52,681
施設整備費等
修学旅行費	15,647	-	42,824	3,882
校外学習費	3,909	4,949	3,854	2,968
学級・児童会・生徒会費	8,821	11,098	7,602	7,842
その他の学校納付金	12,558	15,898	11,352	10,550
P T A 会費	5,931	6,988	5,525	5,321
後援会費	4,866	5,847	4,518	4,269
寄附金	629	865	644	389
計	120,624	148,654	126,647	87,902
教科書費・教科書以外の図書費	31,249	47,030	27,418	19,929
学用品・実験実習材料費	21,854	43,361	12,380	10,608
教科外活動費	39,395	62,699	40,290	16,234
通学費	52,283	69,257	50,914	37,401
制服	26,110	68,735	7,222	3,931
通学用品費	12,776	22,012	9,047	7,613
その他	4,970	7,049	2,448	5,461
計	188,637	320,143	149,719	101,177
合 計	309,261	468,797	276,366	189,079

出典：「令和3年度(2021年度) 子供の学習費調査」（文部科学省）

発行者：熊本県
所 属：私学振興課
発行年度：令和5年度（2023年度）